

# 事務事業及び予算の執行実績

静岡県立掛川特別支援学校

# 目 次

1	<input type="checkbox"/>	事務事業の概要	.....	1
2	<input type="checkbox"/>	事務執行の根拠法令調	.....	24
3	<input type="checkbox"/>	学校施設の概要	.....	25
4	<input type="checkbox"/>	在籍生徒調	.....	28
5	<input type="checkbox"/>	入学志願者及び入学者数調	.....	30
6	<input type="checkbox"/>	卒業生の動向調	.....	31
7	<input type="checkbox"/>	生徒の状況	.....	32
8	<input type="checkbox"/>	特別支援学校における生産物売払調	.....	34
9	<input type="checkbox"/>	預金調	.....	37
10	<input type="checkbox"/>	郵券等受払調	.....	38
11	<input type="checkbox"/>	材料品受払調	.....	39
12	<input type="checkbox"/>	委託料等歳出予算執行状況節別集計表	.....	40
13	<input type="checkbox"/>	委託料等歳出予算執行状況節別集計表	.....	41
14	<input type="checkbox"/>	委託料に関する調	.....	42
15	<input type="checkbox"/>	負担金支出調	.....	56
16	<input type="checkbox"/>	建築工事調	.....	58
17	<input type="checkbox"/>	公有財産調	.....	60
18	<input type="checkbox"/>	借地借家等調	.....	62
19	<input type="checkbox"/>	事務機器等の債務負担行為又は 長期継続契約に係る調	.....	63
20	<input type="checkbox"/>	行政財産貸付・使用許可調	.....	64
21	<input type="checkbox"/>	主要備品調	.....	65

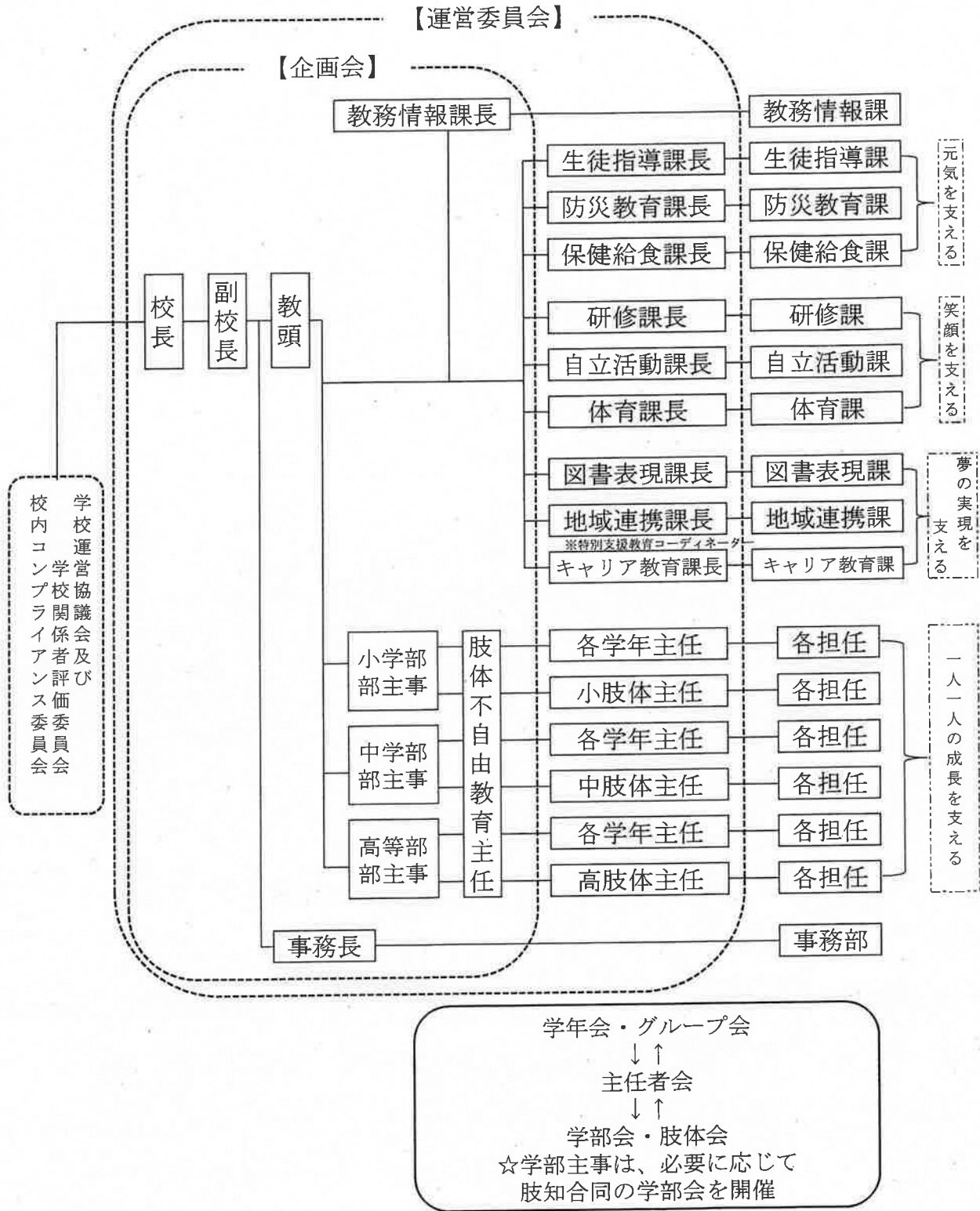
## 事務事業の概要(本校)

### 1 概況

#### (1) 学校の沿革

平成	24. 7. 23	定例会において掛川地区に新設する県立特別支援学校設置場所を掛川市立総合病院跡地の一部にすることを決定
	26. 4. 1	設置準備委員会を静岡県立袋井特別支援学校内に設置 設置準備委員 9名発令
	26. 5. 29	校舎新築工事着工
	27. 2. 28	校舎建築工事完了
	27. 4. 1	静岡県立掛川特別支援学校開校
	27. 4. 10	第1回入学式挙行
	27. 4. 14	開校記念式典挙行
令和	2. 4. 1	学校運営協議会設置

(2) 組織図



各種委員会(校内委員のみ)

- 学校自己評価委員会 危機管理委員会 校内支援検討委員会 学校保健委員会  
 教育課程検討委員会 交通安全委員会 スクールバス安全委員会 生徒指導委員会  
 人権教育及びいじめ対策委員会 道徳教育推進委員会 学校職員衛生委員会  
 入学者選考委員会 研修推進委員会 校内就学支援委員会 業者選定委員会  
 校内医療的ケア検討委員会 校内医療的ケア安全委員会 交流教育推進委員会  
 アレルギー等対応委員会 学校給食委員会(運営 衛生管理 献立作成 物資選定 食育推進)  
 施設開放委員会 夢の実現委員会 カリキュラムマネジメント委員会  
 ふれあいフェスタ実行委員会

## 2 目指す学校像

### (1) 令和6年度の教育目標 「元気 笑顔 夢の実現」

元気＝命の大切さを基本とし、楽しい学校生活の中で、心身ともに健康な生活を送ること  
 笑顔＝日々の学校生活が学習面・生活面で満たされ、人・もの・ことに主体的に関わること  
 夢の実現＝日々の教育を明日に繋げ、卒業後に自立した豊かな生活を送れるようにすること

#### 目指す児童生徒の姿

自分の良さを生かし、人や社会とつながりながらその能力や可能性を最大限に発揮して、主体的に学び生活する姿

### (2) 令和6年度の目標具現化の柱

- ア 【安全・安心】人権・個性を尊重し、安全・安心な教育環境、学校体制と教育の充実
- イ 【授業】一人一人の教育的ニーズに応じ、確かな成長・発達を支える授業の充実
- ウ 【連携】地域とつながり、地域に学び、地域と連携・協働した学校づくりとセンター的機能の充実

### (3) 令和7年度の教育目標 「いきいき学び 地域と共に よりよく生きる人を育てる」

いきいき学ぶ ＝心身ともに健康で、楽しく主体的に学ぶこと  
 地域と共に ＝学校生活（学習面・生活面）が充実し、人・もの・ことに関わること  
 よりよく生きる人＝日々の学びを積み重ね、卒業後に自立した豊かな生活を送れるようにすること

### (4) 令和7年度の目標具現化の柱

- ア【専門性】一人一人の教育的ニーズに応じ、確かな成長・発達を支える専門性の充実
- イ【安全・安心】人権・個性を尊重し、安全・安心な教育環境、学校体制と教育の充実
- ウ【連携】家庭や地域、関係機関等から信頼され共に歩む協働体制の充実
- エ【チーム】「認め合い、支え合い」に基づいたチームとしてやりがいがある

## 3 監査対象期間の年度別学校経営の取組等

### (1) 令和6年度の取組目標への評価及び成果と課題

	取組目標	成果目標	達成状況	評価	成果と課題
ア 専 門 性	(ア)学習指導要領を踏まえ、「主体的・対話的で深い学び」のある授業実践を通じた実践力と専門性のレベルアップ	・「日々の児童生徒の評価を記録し、必要に合わせて指導方法を工夫しながら、個別の指導計画の目標を適切な指導により達成できた」と答える教職員 100%	個別の指導計画の目標を適切な指導により達成できている。 94.2%	A	教員間で児童生徒の情報を共有し、授業のあらわれについての記録や話し合いを行い、個別の指導計画の目標に向かって適切な指導ができた。
		・「主体的・対話的で深い学びの視点で授業改善できた」と答える教職員 100%	話し合いや助言者、授業アドバイザー等からの助言を受け授業改善している。 95% 主体的・対話的で深い学びの視点で、授業改善している。 98.4%		グループ研修における授業研究では、協議の視点を絞って提示したりグループ編成を工夫したりすることで活発な話し合いができた。助言者から受けた助言を基に具体的に授業改善ができた。深い学びの姿について追及していく。
		・「児童生徒が ICT 機器を活用した」と答える教職員 100%	授業で児童生徒が ICT 機器を活用している。 90.1%		ICT 活用研修やミニ学習会で学んだことをいかし、授業で児童生徒が機器を活用する場が多く見られた。

	(イ)学校体制で取り組むカリキュラム・マネジメント 12 年間の年間指導計画と「いきいき学び地域と共によりよく生きる人」を育てる授業づくりの推進	・「12 年間の系統性や学習指導要領等の内容に沿って見直した年間指導計画が作成できた」と答える教職員 100%	12 年間の系統性や学習指導要領等の内容を見直した年間指導計画を作成している。 92.6%	A	音楽と体育については、12 年間の系統性ある全体計画資料を作成し、全職員に向けて活用の仕方や配慮事項について説明した。次年度以降、実際に活用しての改善点を修正して、本校の実態に合った資料としていく。また、図工・美術においても同様の資料を作成していきたい。
	(ウ)心理的安全性の確保と月 45 時間以内を目指した働き方改革の推進	・「働きがいとワークライフバランスの視点で業務改善できた」と答える教職員 90%	教職員一人一人が相手を思いやり、働き方改革の意識を持って業務や会議の効率化と精選を進めている。 86.1% 働きがいとワークバランスの視点で業務改善している。 86.9%	B	多様性を認め合う心情を呼びかけ、悩み事をすぐに伝えられる環境整備に取り組んだ。来年度は、心理的安全性の確保に向け、アンガーマネジメントやアサーションの研修に取り組む。夢の実現委員会を 3 回実施。10 分間のスッキリタイムを導入し、机上と心の整理のための時間を設けた。
イ 安全・安心	(ア)児童生徒が安全に安心して生活できる教育環境の整備及び事故等の未然防止への行動力と有事への対応力の向上	・管理責任者による安全点検と美化活動の実施、危険個所の迅速な整備 100%	毎月点検を実施。計画的にスクールクリーンを実施。 98.3%	A	清掃用具の不足や破損への補充や交換による環境整備の実施。ごみの捨て方の周知徹底を継続する。
		・保健、医療的ケア、給食、体育等の重大事故発生 0 件 ・「ヒヤリハット等の情報を環境整備や再発防止に活用した」と答える教職員 100%	児童生徒の重大事故 0 件。 ヒヤリハットによる情報共有の実施。 96.7%		今後も、ヒヤリハットや事故を起こさないために、事前にできることを、保健給食課から発信していく。
		・マニュアルを教職員が理解し、「有事の際の動きが分かって行動できる」と答える教職員 100% ・不祥事根絶。情報機器紛失 0 件。個人情報紛失 0 件。交通加害事故 0 件。不適正会計処理 0 件。	災害、緊急捜索、不審者対応等の訓練を実施。 96.7% 情報機器紛失 0 件 個人情報紛失 0 件 交通加害事故 1 件 不適正会計処理 0 件		訓練を周知する際に、危機管理マニュアルを開き、確認する時間を設けた。また、訓練後に実際に即した内容に修正し、全職員に周知した。 不祥事根絶に向け、職員研修を実施。法令順守を徹底する。
	(イ)教職員、児童生徒の人権意識の向上と、他者も自分も大切に作る心の醸成	・「教職員一人一人が人権に配慮した丁寧な態度や言葉遣いができた」と答える教職員 100%	人権教育の全体研修会と学部会を実施。月ごとの人権目標や振り返りシートを活用した。 89.4% 発達段階に応じた人権教育、道徳教育を各授業や朝、帰りの会等で行っている。 95.9%	A	月初めに人権目標を周知。月末に該当学年が教職員や児童生徒の変容について話をする場を設け、全体で共有。今後も児童生徒への「さんづけ」を徹底する。 講師を招聘して、教職員向けに道徳講演会を実施。発達段階に応じた人権教育、道徳をテーマにした公開授業を各学年 1 回以上実施している。

		・「児童生徒が、あいさつやありがとうが自分から言えた」と答える教職員 100%	児童生徒は、あいさつや「ありがとう」が自分から言えている。 91.0%		道徳教育や人権教育の指導に難しさを感じている教職員がいるため、実践に繋がる学習会や講演会を検討する。
ウ 連 携	(ア)よりよく生きる人を目指した学校と家庭、地域・関係機関等との協働強化	・「すまいるファイルを保護者や関係機関と共有し、面談や進路指導に活かせた」と答える教員 100%	すまいるファイルの意義や校外の活用方法の周知 教員、保護者への説明。 94.2%	A	面談時に保護者が持参し、活用することができたが、学年が進むにつれ、中身が増えるので整理が必要。継続して活用を推進する。
		・ニーズに応じた関係者会議や学習会を設定したり、情報共有したりして、「必要に応じて保護者や関係機関と連携して取り組んだ」と答える教職員 90%	ニーズに応じて関係者会議を設定したり情報共有したりして、保護者や関係諸機関と連携している。 98.4%		支援会議5回(3名)、関係者会議8回(8名)実施。今後の支援の方向性について検討、共有、情報共有等することができた。また、中遠地区特別支援学特別支援教育コーディネータ研修会を実施し、対応力向上に努めた。
		・校内の専門家(看護師、SC)や校外の専門家(PT、OT、学校医、医ケア指導医相談員等)の活用が「有効であった」と答える教員の評価 90%	栄養教諭や養護教諭が授業に加わるなどし、専門家による指導助言を支援に活かしている。 96.7%		栄養教諭、養護教諭とタイアップしたことで、食や健康への関心を深められた。今後も実践を継続し、掲示板などで周知していく。
		・「学校公開やHP等で学校の様子が理解できた」と答える保護者 100%	保護者や外部の方が学校の様子を理解できるように、ホームページやcocoa配信等を活用している。 96.7%		学部内で担当を決めて記事の依頼をし、計画的に更新できた。取り組みを継続する。
(イ) 地域資源(人・もの・こと)への深い理解とそれを活かした実践や発信	・「ふれあい活動を実施し、地域資源(人・もの・こと)を利用できた」と答える教職員 100%	『ふれ活』を実施し、地域資源(人・もの・こと)を利用している。 98.4%	A	「ふれ活」では、例年の活動に加え地域のCS Co.と連携し、新規で地域人材の活用、実施をすることができた。	
	・地域の方々に向けた作品展や日頃の学習活動を公開して、「児童生徒の理解啓発につながった」と答える教職員・外部評価 100%	地域の方々に向けた居住地域での作品展や日頃の学習活動の公開などを通して、児童生徒の理解啓発につなげている。 95.9%		地域の図書館で作品の展示を実施。全国展、手足の不自由なこどもの絵画写真展にも出品し、広く地域の人達にも本校の生徒の作品や学校のことを周知できた。	
	・実施後アンケートで「相互に有効な交流活動であった」と答える本校、相手校の評価 100%	学校間交流や、交流籍校の相手校と連携を図り、相互に有効な交流及び共同学習を行っている。 95.9%		市のCo研修で交流学習の意義やねらい等小中学校への理解啓発を行えた。理解啓発を今後も継続する。職員への周知についても、足りなかった部分があった。学部や職員会議でのミニ学習会で行う等、工夫していきたい。	

## (2) 令和7年度の取組目標・達成目標・成果目標

	取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標	担当部署
ア 専門性	(ア)教育的ニーズの的確な把握と目標の達成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自立活動の6区分等から実態把握し、個別の教育支援計画の根拠ある目標を反映させた個別の指導計画を作成・実践する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「個別の指導計画の目標を適切な指導により達成できた」と答える教職員 100%</li> </ul>	自立活動課 教務情報課 研修課 各学部
	(イ)つながりのある支援と指導の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・対話と深い学びのためのICT活用指導を実施する。(3回)</li> <li>・12年間の系統性と教科横断的な視点を押さえた年間指導計画の作成と評価を行う。</li> <li>・カリキュラムマネジメント委員会を推進する。(年間3回)</li> <li>・TT間の話し合いや授業アドバイザー、外部助言者からの助言を活かしたPDCAサイクルを用いた日々の授業改善を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「児童生徒がICT機器を活用した」と答える教職員 100%</li> <li>・「12年間の系統性や学習指導要領等の内容に沿って見直した年間指導計画の作成と日々の授業改善ができた。」と答える教職員 100%</li> <li>・「主体的・対話的で深い学びの視点で授業改善できた」と答える教職員 100%</li> </ul>	カリキュラム・マネジメント委員会 体育課 研修課 図書表現課 各学部 教務情報課
イ 安全・安心	(ア)人権に配慮した言動や行動の徹底	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人権に関する全体研修(年間3回)</li> <li>・月ごとの教職員人権目標の設定や振り返りシートを活用し、人権感覚の向上を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「教職員一人一人が人権に配慮した丁寧な態度や言葉遣いができた」と答える教職員 100%</li> </ul>	生徒指導課 各学部 人権教育及びいじめ対策委員会
	(イ)命を守る体制の整備と緊急時対応の行動力強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ヒヤリハット発生時、迅速に情報を共有し、改善案を策定する。</li> <li>・危機管理マニュアルの理解推進と各訓練後の見直しを実施し、情報の共有を図る。</li> <li>・安全・安心な教室環境を整備する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「ヒヤリハット等の情報を環境整備や再発防止に活用した」と答える教職員 100%</li> <li>・マニュアルを教職員が理解し、「有事の際の動きが分かって行動できる」と答える教職員 100%</li> </ul>	保健給食課 体育課 教務情報課 防災教育課 生徒指導課 各学部
ウ 連携	(ア)よりよく生きるための関係機関等との協働強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個別の教育支援計画やキャリアパスポート等、保護者や関係機関からの相談や要望に対して丁寧に対応し、それぞれの役割を明確にして、連携する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ニーズに応じた関係者会議や学習会を設定したり、情報共有したりして、「必要に応じて保護者や関係機関と連携して取り組んだ」と答える教職員 90%</li> </ul>	自立活動課 地域連携課 キャリア教育課 各学部
	(イ)地域資源(人・もの・こと)への深い理解とそれを活かした実践や発信	<ul style="list-style-type: none"> <li>・チーム学校の機能を活用し、在籍児童生徒の支援体制を充実させる。</li> <li>・地域資源(人・もの・こと)を活用する「ふれあい活動」を年間指導計画に位置付けて実践し、成果と課題を明確にする。</li> <li>・地域の施設での作品展や作業製品展示・販売会を開催する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・校内の専門家(看護師、SC)や校外の専門家(PT、OT、学校医、医ケア指導医相談員等)の活用が「有効であった」と答える教員の評価 90%</li> <li>・「ふれあい活動を実施し、地域資源(人・もの・こと)を利用できた」と答える教職員 100%</li> <li>・地域の方々に向けた作品展や日頃の学習活動を公開して、「児童生徒の理解啓発につながった」と答える教職員・外部評価 100%</li> </ul>	地域連携課 キャリア教育課 保健給食課 自立活動課
	(イ)地域資源(人・もの・こと)への深い理解とそれを活かした実践や発信	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域資源(人・もの・こと)を活用する「ふれあい活動」を年間指導計画に位置付けて実践し、成果と課題を明確にする。</li> <li>・地域の施設での作品展や作業製品展示・販売会を開催する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「ふれあい活動を実施し、地域資源(人・もの・こと)を利用できた」と答える教職員 100%</li> <li>・地域の方々に向けた作品展や日頃の学習活動を公開して、「児童生徒の理解啓発につながった」と答える教職員・外部評価 100%</li> </ul>	地域連携課 カリキュラム・マネジメント委員会 図書表現課 各学部
エ チーム	(ア)働きがいのある職場の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教職員一人一人が「認め合い、支え合い」の精神で、心理的安全性を担保し合い、環境調整を行う。</li> <li>・アソシアリズムの研修を実施し、風通しがよく働きがいのある職場づくりを推進する。</li> <li>・夢の実現委員会を開催する。(年間2回)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「教職員が協働することで、より良い成果を目指して、業務に関する課題を解決できた」と答える教職員 100%</li> </ul>	夢の実現委員会 学校職員衛生委員会 各学部

4 監査対象期間における特色ある取組  
(令和6年度)

教育課程について検討する「カリキュラムマネジメント委員会」、教職員の目線から働き方改革を推進する「夢の実現委員会」を設置し、年間を通じて検討を行った。カリキュラムマネジメント委員会では、学部主事や学年主任を対象に、業務への取り組み方や教育課程の考え方についての研修を実施し、年間行事や年間指導計画の見直しへとつながった。特に、教科について、体育と音楽の12年間の系統

性を整理した。夢の実現委員会では、やりがいを感じられる働きやすい職場づくりを目指し、学部ごとの取組目標の設定や定時退庁日に教員の一言コメント付きの放送実施等、身近で親しみのある取組を実践することができた。

教職員の人権意識の向上に向けての取組では、人権学習会、道徳教育研修に加え、毎月の人権目標を設定し、日々の行いを振り返る機会を設ける等、知識と専門性の向上を目指した取組を実施した。

地域との連携では、「ふれ活(ふれあい活動)」を主軸に置き、高等部園芸班と地域ボランティアとの花植え活動や、プロの写真家による授業、地域ボランティアと一緒に地域を散策する「いちにちウォーク」の実施、学校周辺の施設との活動(びのほーぷとのサツマイモ栽培、掛川東病院のプランター花植え、希望の丘エリアでの奉仕活動等)など、様々な学習を実施することができた。また、地域連携を担当するディレクターを窓口に掲川市広報広聴課と連携し、掛川市のラインやインスタグラムを通じた学校行事ボランティアの募集を行い、新たな地域人材の発掘へとつながった。

年度	取組概要	成果及び課題
令和6年度	ア(ア)学習指導要領を踏まえ、「主体的・対話的で深い学び」のある授業実践を通じた実践力と専門性のレベルアップ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教員間で児童生徒の情報を共有し、授業のあらわれについての記録や話し合いを行い、個別の指導計画の目標に向かって適切な指導ができた。</li> <li>・グループ研修における授業研究では、協議の視点を絞って提示したりグループ編成を工夫したりすることで活発な話し合いができた。助言者から受けた助言を基に具体的に授業改善ができた。深い学びの姿について追及していく。</li> <li>・ICT活用研修やミニ学習会で学んだことを生かし、授業で児童生徒が機器を活用する場が多く見られた。</li> <li>・音楽と体育については、12年間の系統性ある全体計画資料を作成し、全職員に向けて活用の仕方や配慮事項について説明した。次年度以降、実際に活用しての改善点を修正して、本校の実態に合った資料としていく。また、図工・美術においても同様の資料を作成していきたい。</li> </ul>
	ア(ウ)心理的安全性の確保と月45時間以内を目指した働き方改革の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多様性を認め合う心情を呼びかけ、悩み事をすぐに伝えられる環境整備に取り組んだ。来年度は、心理的安全性の確保に向け、アンガーマネジメントやアサーションの研修に取り組む。</li> <li>・夢の実現委員会を3回実施。10分間のスッキリタイムを導入し、机の上と心の整理のための時間を設けた。</li> </ul>

(令和7年度)

年度	取組概要	成果及び課題
令和7年度	ア(ア)教育的ニーズの的確な把握と目標の達成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自立活動の6区分等から実態把握をし、個別の教育支援計画の根拠ある目標を反映させた個別の指導計画を作成・実践している。</li> <li>・図工・美術において、本校の実態に合った12年間の系統性ある全体計画資料を次年度以降の活用に向けて作成している。</li> <li>・TT間の話し合いや授業アドバイザー、外部助言者からの助言を活かしたPDCAサイクルを用いた日々の授業改善を行っている。</li> </ul>
	ア(イ)つながりのある支援と指導の充実	
	イ(ア)人権に配慮した言動や行動の徹底	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒指導課が、人権についての伝達研修を実施し、県の人権教育の方針や本校の人権目標などを確認した。また、静岡県人権啓発センターの職員を講師として招き、人権を意識したかわり方やチームとしての心理的安全性の高め方などを講義・演習を通して学んだ。</li> <li>・ヒヤリハット発生時、迅速に情報を共有し、改善案を策定することで、重大事故防止に努めている。</li> <li>・危機管理マニュアルに沿って、各訓練を実施した。訓練後、すぐに災害対策本部で振り返りをし、本校の実情に合った形</li> </ul>
	イ(イ)命を守る体制の整備と緊急時対応の行動力強化	

		<p>でマニュアルを見直すことができている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>安全・安心な教室環境を整備するため、学校職員安全委員会のメンバーで定期的に巡回し、改善している。</li> </ul>
ウ(ア)よりよく生きるための関係機関等との協働強化		<ul style="list-style-type: none"> <li>個別の教育支援計画やキャリアパスポート等、保護者や関係機関からの相談や要望に対し、それぞれの役割を明確にして、連携している。</li> <li>地域連携課を中心に、必要に応じて支援会議を実施し、児童生徒の支援体制の充実に努めている。</li> <li>地域資源(人・もの・こと)を活用する「ふれあい活動」を年間指導計画に位置付けて実践し、地域とのつながりを深めている。また、インスタグラムを開設し、積極的に情報発信している。</li> <li>市役所での作業製品展示や近隣施設、学校での販売会に参加した。11月には、本校を会場に「ふれあいフェスタ」を行い、作業製品販売会や実演を開催する予定である。</li> </ul>
ウ(イ)地域資源(人・もの・こと)への深い理解とそれを活かした実践や発信		
エ(ア)働きがいのある職場の充実		<ul style="list-style-type: none"> <li>アサーション研修を実施した。教職員一人一人が「認め合い、支え合い」の精神で、風通しの良い職場づくりに向けて、お互いを理解することの大切さを学んだ。</li> </ul>

## 5 教職員について

### (1) 異動状況

区分	本 務 職 員											小計	臨時的・会計年度任用職員							小計	合計			
	校長	副校長	教頭	事務長	教諭	教諭(任)	養護教諭	栄養教諭	主査	主任	主事		技能長	主任技能員	教諭(臨)	非常勤講師	スクールカウンセラー	医療的ケア看護職員	実習支援指導員			就労促進専門員	非常勤労務職員	非常勤嘱託員
転出者			1		16	3	1		1			1	23									0	23	
退職者	1				3								4	6				1	1	1	1	10	14	
転入者	1		1		19	4	1		1			1	28									0	28	
新任者					4	1							5	4	1				1	1		7	12	
差引増減	0	0	0	0	4	2	0	0	0	0	0	Δ1	1	6	Δ2	1	0	0	Δ1	0	0	Δ1	Δ3	3

### (2) 職員数

区分	本 務 職 員											小計	臨時的・会計年度任用職員							小計	合計		
	校長	副校長	教頭	事務長	教諭	教諭(任)	養護教諭	栄養教諭	主査	主任	主事		主任技能員	教諭(臨)	非常勤講師	スクールカウンセラー	医療的ケア看護職員	実習支援指導員	就労促進専門員			非常勤労務職員	非常勤嘱託員
男		1	1	1	39	4						1	47	4	2				1	2		9	56
女	1				77	3	2	1	2		1		87	6	1	1	6	1	10			25	112
計	1	1	1	1	116	7	2	1	2	0	1	1	134	10	3	1	6	0	1	11	2	34	168

### (3) 健康管理について

#### 【令和6年度】

##### ア 健康管理の推進

- ・教職員健康診断（生活習慣病健診、指定年齢健診、人間ドック、婦人科検診等）の確実な実施を徹底し、教職員の健康状態の把握に努めた。検診の結果、再検査・精密検査が必要な職員には早めに受診するよう呼び掛け、確実な受診へと結びつけることができた。
- ・職員安全衛生委員会を毎月開催し、教職員の心身の健康状態の把握に努めた。また、労働環境についても取り上げ、環境の改善や働きやすい環境づくりに努めた。

##### イ 腰痛予防対策について

- ・週1回の全職員による腰痛予防体操を行った。各自のペースでゆっくりと体をほぐすことで、腰痛予防への意識の向上へとつながった。
- ・対象者には腰痛検診を実施し、腰痛の有無や状況の把握を行った。

##### ウ ストレス、メンタルヘルスについて

- ・毎月1回の職員安全衛生委員会を実施し、教職員の体調や精神状態の把握を行った。残業が増加傾向にある教職員については、業務内容の精選を行ったり事務処理時間の確保に努めたりと、部主事や学年主任が連携して取り組んだ。
- ・毎週水曜日の定時退勤日（18時完全閉庁）、月・火・木・金曜日の19時完全閉庁は、教職員に定着している。

#### 【令和7年度】

##### ア 健康管理の推進

- ・教職員健康診断（生活習慣病健診、指定年齢健診、人間ドック、婦人科検診等）の確実な実施を徹底し、教職員の健康状態の把握に努めている。検査の結果、再検査・精密検査が必要な職員には早めに受診するよう呼び掛け、確実な受診へと結びつけることができるよう取り組んでいる。
- ・インフルエンザや新型コロナウイルス感染症等の流行状況を掲示板に掲載することで情報共有し、教職員の感染症への意識向上のための取り組みを行っている。
- ・毎月1回学校職員衛生委員会を開催し、教職員の健康状況の把握に努めている。また、学校職員衛生委員会で確認した教職員の健康状況について産業医にも情報共有し、必要な助言を得て対応している。

##### イ 腰痛予防対策について

- ・週1回、業務開始時に腰痛予防体操を行い、職員の腰痛予防と意識向上のための取り組みとしている。
- ・児童生徒の介助時には十分に気を付け、必要な場合には複数人で対応するように学部主事や肢体統括主任が中心となって指導体制づくりを行っている。
- ・対象者には腰痛検診を実施し、腰痛の有無や状況の把握を行った。

##### ウ ストレス、メンタルヘルスについて

- ・毎月1回開催する学校職員衛生委員会では、教職員の健康状況に加えて精神状態や教員間の人間関係についても話題にした。初任者や所属異動者、子育てや介護等の心配事を抱えている教職員を把握し、日常的に言葉を掛けていくラインケアを行うよう、管理職や学部主事、肢体統括主任を中心に取り組みを行っている。
- ・毎週水曜日の定時退庁（18時施錠）、月・火・木・金曜日の19時施錠に加え、申請した教職員に限り、最大20時までの勤務を可能（水曜日以外）としている。ワーク・ライフ・バランスや教職員の多様な働き方に対応できるような環境づくりに努めている。

### (4) 教職員の研修について

#### 令和6年度

目的・研修内容	成果
1 研究テーマ 「自ら考え行動し、学びを積み重ねる姿を目指した授業づくり～主体的・	・令和6～7年度の2年計画研修の1年目として、グループ別研修を中心に、授業研究会や学習会等を通し、授業力向上を目指した取り組みを行った。

目的・研修内容	成果
<p>対話的で深い学びの実現に向けて～」</p> <p>2 目的</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「自ら考え行動する人」を目指した授業づくりを推進する。</li> <li>・学習指導要領に基づく授業づくりを推進する。</li> <li>・教職員の授業力や専門性の向上を図る。</li> </ul> <p>3 研究内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・肢体不自由教育、小学部、中学部、高等部の4つの研究グループを組織し、全体の研究テーマに基づき、授業実践研究を行う。</li> <li>・昨年度研修で取り組んだ児童生徒の考える力を引き出すための授業づくりに焦点を当て、「主体的・対話的」で「深い学び」の充実に向け、授業展開、単元構想、手立ての精選について研修する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各学部・グループ共に、年間2回の授業研究会を実施した。授業研究会では、児童生徒の思考の流れを予測しながら授業展開を考え、「掛特授業ポイント」(KJP)の視点に基づいて支援方法を考えた。小学部の助言者である浜松特別支援学校小嶋真子教諭からは、授業を考える際に「子どもの生活のテーマは何か。」「子どもにとって、この単元を通して成就したいことは何か。」を押さえることが重要であること、KJPの視点の一つである「思考に沿った授業展開」から、「本時の子どもの問いは何だったのか。」を考え、子どものあられを基に整理していくことで、子どもたちの学びを「深い学び」へとつなげていくことができるのではないかと、との助言をいただいた。この助言をもとに、生活単元学習での生活上のテーマを見直し、より児童にとって必然性の高い、自ら取り組みたいと感じられる学習へと発展できるようにしていく。</li> <li>また、高等部助言者の吉田特別支援学校田中康暁教諭からは、生徒の支援を精選することで生徒が思考・判断する機会が増え、その積み重ねが深い学びへとつながること、様々な活動を整理した上で生徒に任せる部分を増やすことで、生徒自身が気づき行動する姿へとつながっていく、ということを教えていただいた。これらの助言を基に、児童生徒の学びが「深い学び」へと深まっていくよう、活動内容や活動への取り組み方を見直し、研修を継続していく。</li> </ul>
<p>初任者研修、2年次研修、3年次研修、6年次研修、中堅教諭等資質向上研修を推進する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・指導教員を中心に学校全体で取り組み、教員の資質の向上を図る。</li> <li>・初任者に対して基礎的な理論や技術、子どもの見方などの研修を実施する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各自の目標達成のために、校外研修や授業支援訪問、指導教員を中心とした研修を計画的に実施した。</li> <li>・研修では概論だけではなく、実際の授業づくりや指導に生かすことができるよう、具体例を示し、周りの教員が共に考えるOJTの考え方も取り入れながら取り組みを行うことができた。</li> </ul>

令和7年度

目的・研修内容	成果
<p>1 研究テーマ</p> <p>「自ら考え行動し、学びを積み重ねる姿を目指した授業づくり～主体的・対話的で深い学びの実現に向けて～」</p> <p>2 目的</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「自ら考え行動する人」を目指した授業づくりを推進する。</li> <li>・学習指導要領に基づく授業づくりを推進する。</li> <li>・教職員の授業力や専門性の向上を図る。</li> </ul> <p>3 研究内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・肢体不自由教育、小学部、中学部、</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和6～7年度の2年計画研修の2年目として、グループ別研修を中心に、授業研究会や学習会等を通し、授業力向上を目指した取り組みを行っている。</li> <li>・各グループ、年間2回の授業研究会を予定している。1学期に行われた授業研究会では、各グループで授業改善を重ね、大きな成果を挙げることもできた。肢体不自由教育では、KJPを使って児童生徒の思考の流れを考えながら学習の展開や支援を考えることができた。小学部では、授業カードに児童にとっての問いを記載することで、教員間で児童がもつ問いを共通理解でき、問いを解決するための授業展開や教材教具、教師による働き掛けなどの手立てをKJPの視点で考えることができた。中学部では、システムティックインストラクションの視点を用いて生徒のつまずきを予</li> </ul>

目的・研修内容	成果
<p>高等部の4つの研究グループを組織し、全体の研究テーマに基づき、授業実践研究を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教師のねらいと児童生徒の問いを明確にする。</li> <li>・KJPを活用して児童生徒の思考を促す手立てについて見直す。</li> </ul>	<p>想し、それに対してKJPの視点で授業づくりや授業改善を行った。それにより、生徒一人一人が自分の課題を意識して取り組み、成功体験から自信へとつながり、下級生に作業のやり方を自発的に教えるなど自ら考え、行動する姿が見られた。高等部では、1年後の達成する姿を決めることで、単元の終わりに達成したい目標を設定しやすくなった。また、単元について話し合う時間を設けることで、教師間で支援方法や教材、授業展開について共通認識することができた。各グループで、前期の授業づくりの成果や課題を基に、後期に向けての実践を整理することができた。</p>
<p>初任者研修、2年次研修、3年次研修、6年次研修、中堅教諭等資質向上研修を推進する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・指導教員を中心に学校全体で取り組み、教員の資質の向上を図る。</li> <li>・初任者に対して基礎的な理論や技術、子どもの見方などの研修を実施する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各自の目標達成のために、校外研修や授業支援訪問、指導教員を中心とした研修を計画的に実施し成果を上げている。</li> <li>・研修では概論だけではなく、実際の授業づくりや指導に生かすことができるよう、具体例を示し、周りの教員が共に考えるOJTの考え方も取り入れながら取り組みを行っている。</li> <li>・各学部配置されている授業アドバイザーによる指導・助言が、教員の資質向上につながっている。</li> </ul>

## 6 防災対策について

令和6年度は、「本気の防災訓練」をキーワードに、危機管理マニュアルを用いながらより実効性の高い防災訓練を中心とした防災教育を充実させること、掛川市と連携し校内の福祉避難所マニュアルを作成することの2点について、重点的に取り組んだ。

防災訓練については、一学期に地震を中心に基本的な避難方法を確認した。二学期には、COCOOを用いた安否確認訓練や171録音・再生訓練を行った。また、下校時避難訓練では、実際にスクールバスが避難場所に移動し、その時点でCOCOOにて保護者に引渡し場所を伝達して引渡しを行った。また、自力通学生徒については、保護者が本人と連絡を取り合って状況確認して学校へ連絡を入れること、児童生徒帰宅後には、全保護者からCOCOOアンケートにて安否確認の連絡を受けた。総合防災訓練では、非常ベルが鳴り、防火扉が閉まった状態での避難方法の体験、実際に男女で割り振られた場所での寝袋体験、非常食を食べた後のごみの始末の学習、水道が止まってしまった場合の手洗いや歯磨きの体験等、災害時をよりリアルに再現した訓練を行った。発災時に児童生徒が自分の命を守ることができるよう、また、発災後の避難生活の際に少しでも見通しをもって落ち着いて過ごすことができるよう、より具体的で実際の訓練方法を模索しながら今後も取り組んでいく。

防災学習については、避難訓練の前後に動画やスライドを用いて実施した。令和7年度に向けて、防災教育の12年間のつながりやねらいを整理し、危機管理マニュアルに反映させた。児童生徒が継続的に学び、着実な力を身に付けられるよう、取り組みを強化していく。

年度	月 日	内 容
令和6年度	4月3日	危機管理研修（本校の危機管理について）
	4月17日	避難訓練①（地震、避難経路確認）
	5月2日	防災訓練②引渡し訓練（各学部新1年生・小4年生・転入生）
	6月6日	防災訓練③（火災、避難経路確認）
	7月5日	防災訓練④防災学習の日（土砂災害）
	7月8日	ジュニア防災士養成講座（高等部2年生）
	8月30日～ 9月5日	災害用伝言ダイヤル再生訓練（地震）
	10月18日	防災訓練⑤下校時避難訓練
	11月25日	防災訓練⑥総合避難訓練（起震車体験、煙体験、消火訓練、搜索

	1月15日～ 1月21日	救助、非常食体験、寝袋体験) 災害用伝言ダイヤル録音訓練（地震）
	1月20日	防災訓練⑦(原発事故)
	2月12日	防災訓練⑧（1年間の訓練のまとめ）※事前予告無し

令和7年度は、例年と同様、年度始めに職員を対象に危機管理に関する研修会を実施し、危機管理マニュアルを用いて非常時や災害時の対応について基本情報を共有した。

防災訓練については、一学期に地震や火災時の基本的な避難方法を確認した。継続的に訓練を行うことで、職員・児童生徒ともに対応の流れが定着してきた。引き渡し訓練では、対象学年を限定し、児童生徒の安全な引き渡し方法と保護者との連絡体制を確認することができた。また、職員がそれぞれの役割を担い、対応について確認することもできた。一方で、駐車場の不足や近隣道路の渋滞など、安全かつ円滑な引き渡しについて検討が必要であることが分かった。

すべての訓練において、終了後、すぐに災害対策本部のメンバーで振り返る機会を設け、課題を共有し、改善点を危機管理マニュアルに反映させている。

12月には、冬季職員防災訓練を実施予定である。福祉避難所についての福祉課職員による講話、災害発生後の初期対応で活用する災害時スタートボックスの作成等を通して、職員の防災への理解を深め、意識を高めていく。

年 度	月 日	内 容
令和7年度	4月3日	危機管理研修（本校の危機管理について）
	4月23日	防災訓練①（地震、避難経路確認）
	5月2日	防災訓練②引渡し訓練（各学部新1年生・小4年生・転入生）
	6月25日	防災訓練③（火災、避難経路確認）
	7月9日	防災訓練④（地震、緊急地震速報）
	7月15日	ジュニア防災士養成講座（高等部2年生）
	7月28日	防災研修（西部地域局）
	9月1日	災害用伝言ダイヤル録音・再生訓練（地震）
	～9月5日	
	10月29日	防災訓練⑤下校時避難訓練
	12月3日	防災訓練⑥総合避難訓練（起震車、煙体験、消火訓練、捜索救助、非常食体験）
	12月25日	冬季職員防災研修（福祉避難所についての福祉課講話、災害時スタートボックス・スタートカードの作成・検討）
	1月15～19日	災害用伝言ダイヤル録音・再生訓練（地震）
1月14日	防災訓練⑦（原発事故）	
2月X日	防災訓練⑧（1年間の訓練のまとめ）※事前予告無し	

## 7 学校開放について

地域に開かれた学校づくりの一環として、教育活動に支障のない範囲で学校の施設・設備を地域に開放する。

### 【年度別学校施設開放状況】

年度	No.	利用者名	利用施設	利用日数 (日)	利用者数 (人)	利用者負担金 (電気料)(円)
6	1	優武空手研技会道場	体育館	78	1,669	15,200
	2	究成会	体育館	1	40	793
	計			79	1,709	15,993
7	1	優武空手研技会道場	体育館	43	871	7,092
	2	掛川中央ミニバスケットボールクラブ	体育館	3	83	853
	計			46	954	7,945

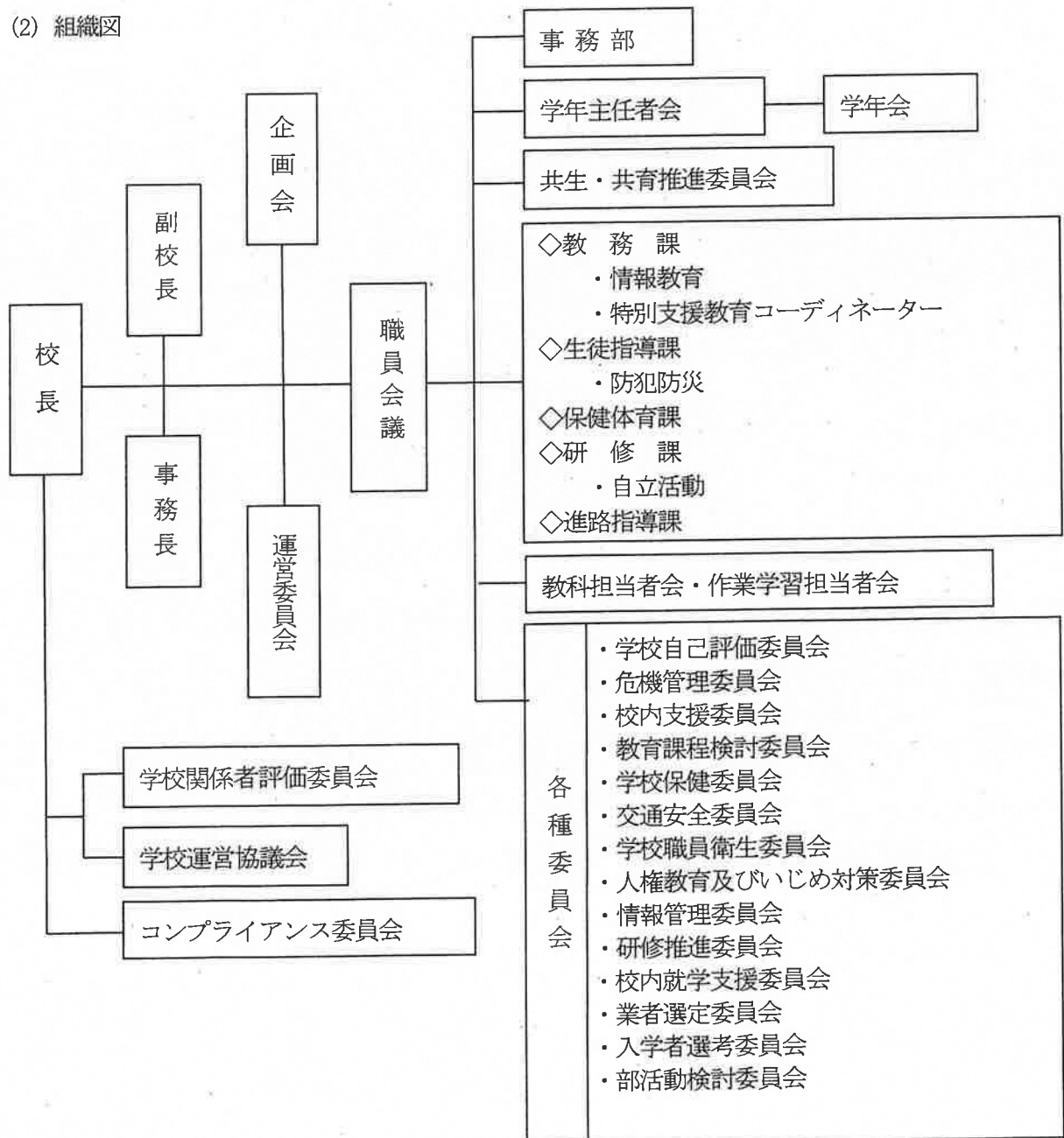
## 事務事業の概要(御前崎分校)

### 1 概況

#### (1) 学校の沿革

- 平成 17. 4. 1 高等部分校設置準備委員長他 5 人発令
- 17. 4. 20 袋井養護学校分校設置連絡協議会発足
- 18. 3. 15 静岡県立池新田高等学校北館 2 階改築工事竣工
- 18. 4. 1 静岡県立池新田高等学校内に静岡県立袋井養護学校御前崎分校開校
- 18. 4. 7 開校式、第 1 回入学式挙行
- 20. 4. 1 静岡県立袋井特別支援学校御前崎分校に校名変更
- 27. 4. 1 静岡県立掛川特別支援学校の開校に伴い、袋井特別支援学校御前崎分校から掛川特別支援学校御前崎分校に校名変更
- 28. 6. 11 創立 10 周年記念行事挙行
- 令和 4. 4. 1 学校運営協議会設置

#### (2) 組織図



## 2 目指す学校像

### (1) 学校教育目標『いきいき学び 地域と共に よりよく生きる人を育てる』

いきいき学ぶ＝心身ともに健康で、主体的に学ぶこと

地域と共に＝学校生活（学習面・生活面）が充実し、人・もの・ことに主体的に関わること

よりよく生きる人＝日々の学びを積み重ね、卒業後に自立した豊かな生活を送れるようにすること

### (2) 目標具現化の柱

ア【専門性】 一人一人の教育的ニーズに応じ、確かな成長・発達を支える専門性の充実

イ【安全・安心】 人権・個性を尊重し、安全・安心な教育環境、学校体制と教育の充実

ウ【連携】 家庭や地域、関係機関等から信頼され、共に歩む協働体制の充実

エ【チーム】「認め合い、支え合い」に基づいたチームとしてやりがいを持つ学校

## 3 監査対象期間の年度別重点目標

### (1) 令和6年度の取組目標・取組目標への評価・成果と課題

	取組目標	成果目標	達成状況	評価	成果と課題（○成果・課題）
ア 専 門 性	(ア) 学習指導要領を踏まえ「主体的・対話的で深い学び」のある授業実践を通じた実践力と専門性のレベルアップ	個別の指導計画の目標について達成することができたと答える教職員 100%	A 38.9% B 5.6%	B	○見える化として流れを示すことが有効だった。 ・年間指導計画の視点や方法を定着させ、より生徒の実態に即した目標設定を目指していく。
	(イ) 学校体制や取り組むカリキュラムマネジメントと「いきいき学び 地域と共によりよく生きる人」を育てる授業づくりの推進	適切な目標を設定し、授業実践や授業改善を行ったと答える教職員 100%	【教職員】 A 38.9% B 61.1%	B	○生徒の目指す姿について、定期的に学部研修で検討をしたため、目指す姿に迫るための有効な支援や手立てを考えることができた。 ・生徒アンケートは担任が質問事項を読み上げ、内容理解を促したうえででの回答のため、A B評価 91.4%は信頼できる評価だと捉えた。
		授業の中で主体的に学び・考え・取り組んだり、仲間とともに活動したりすることができた答える生徒 90%以上	【生徒】 A 37.1% B 54.3% C 5.7% 無 2.9%		
			校内研修の充実により教員の進路指導力が向上し、生徒一人一人の進路相談に生かすことができたと答える教職員 100%	A 33.3% B 55.6%	B
		年間指導計画一覧（シラバス）について評価し、検討することができた答える教職員 100%	A 44.4% B 50%	B	○一覧ができて2年目の今年度は、学年会、教科会、主任者会、学部と年間指導計画を検討する一連の流れができた。 ・評価に関する振り返りは、次年度の課題とする。

	(ウ) 心理的安全性の確保と月 45 時間以内を目指した働き方改革の推進	卒業後の夢の実現に向けて、今、取り組むべき目標について答え、行動することができた生徒 90%以上	1年 2.9% 2年 1.8% 3年 0.9%	B	○生徒の個々の実態に応じた作業日誌を活用することができた。 ・今後、学部全体で夢の実現シートを活用できるようにしていく。
		「働きがいとワークライフバランスの視点で業務改善できた」と答える教職員 90%以上	A44.4% B38.9% C16.7%	B	○授業の担当人数や優先業務に対する空き時間の確保など学年内で調整できた。 ・学年間でも調整できるように他学年の動静を把握しておくとともによい。
イ 安全・安心	(ア) 生徒が安全に安心して生活できる教育環境の整備及び事故等の未然防止への行動力と有事への対応力の向上	安全・安心な環境整備や再発防止の対策及び情報共有ができたと答える教職員 100% 生徒の重大事故 0	【教職員】 A 50% B 50% 【生徒】 達成	A	○毎月の安全点検の際に掲示板へ留意点を掲載し、点検ポイントを絞ったことが学習環境の安全性を高めた。 ・その後の修繕等の依頼方法については周知徹底を図る必要がある。
		危機管理マニュアルを理解し緊急事態に即した行動をとることができる と答える教職員 100% 交通加害事故 0 情報機器・個人情報紛失 0	A27.8% B50% C22.2% 交通事故 1件 情報関係 0件	C	・マニュアルの一部差替えは実施したが、改訂ポイントや有事の際の役割分担などの説明は不足していた。 ・交通事故は教職員の帰宅途上で発生した。 ○情報機器・個人情報の流出はない。
		学習をとおして、自分の身を守るために必要なことを理解し、行動する力がついたと答える生徒 90%以上	A 65.7% B 31.4% C 2.9%	B	○生徒は避難訓練の積み重ねにより、地震の際の 1 次避難が定着していた。 ・自主通学の生徒が通学途上で有事の際に避難行動がとれるかについて、家庭と連携する必要性がある。
	(イ) 教職員、生徒の人権意識を向上し、他者も自分も大切にする心の醸成	自分自身の気持ちや体調を整える方法を知り、実践することができたとする生徒 90%以上	A 22.2% B 61.1% C 5.6%	B	○今まで身に付けてきた方法や分校で教員から教わった方法など情緒面では 50 項目、体調面では 43 項目が実践内容として生徒アンケートに記述されていた。
		常に人権に配慮し、生徒及び教職員にかかわったと答える教職員 100%	A 61.1% B 38.9%	A	○学期 1 回のチェックシートによる自己評価と月 1 回の不祥事根絶研修 (県のコンプライアンス通信含む) での話により、危機意識の持続に努めた。

		相手を尊重し、学校生活での約束を守って生活することができたと答える生徒 90%以上 いじめ・人権侵害 0	A 54.3% B 40% C 5.7% いじめ等 0件	A	○生活アンケートに記述のあった生徒への個別面談を実施したが、いじめに該当する対人関係のもつれは認められなかった。また、夏季休業中に深夜はいかいによる警察案件が1件あった。
ウ 連 携	(ア)よりよく生きる人を目指した学校と家庭、地域・関係機関等との協働強化	池新田高校との交流について生徒及び教職員の肯定的評価 90%以上	【生徒】 A 74.3% B 17.1% 【教職員】 A 44.4% B 55.6%	B	○対人関係に苦手意識のある生徒はいるが、全体的には良い評価を得ている。 (C, D, 無回答 各1人) ○生徒自身が活動目標を考え、教師と確認することにより、目標を達成できる生徒が増えてきている。
		地域資源を生かした教育内容の充実が図られたと答える教職員 100%	A 33.3% B 55.6% C 5.6%	B	○事前打合せにおいて学習目的や生徒の実態を中心に話し合うことにより、生徒の思考に沿った授業を展開することができた。
	(イ)地域資源(人・もの・こと)への深い理解とそれを活かした実践や発信	進路に対し必要な情報を得ることができ、進路選択及び決定することができたと答える保護者 100%	A 53% B 47%	A	・1年生の保護者への実習説明を夏季休業前後に行ったが、早くから動き出す保護者もいたので、次年度は夏季休業前に進路面談を実施したい。他学年の保護者の要望はない。
		御前崎分校の教育活動や魅力について計画的に発信することができたと答える教職員 100%	A 66.7% B 27.8% C 5.6%	A	○HP全体計画の提示や掲載担当の輪番制などの意識づけにより、週1回の定期的な情報発信ができた。保護者には週予定やクーにて適時性のある情報発信をした。
		特別支援教育に関する地域からの相談及び連携についての対応・支援 100%	対応・支援 100%	A	○保護者への講話依頼のあった浜岡東小へコーディネーターを派遣した。 ○御前崎市をはじめとする地域関係機関との連携は極めて良好である。

(2) 令和7年度の取組目標・達成方法・成果目標

	取組目標	達成方法(取組手段)	成果目標
ア 専 門 性	(ア)教育的ニーズの的確な実態把握と目標の達成  (イ)つながりのある支援と指導の充実	主体的・対話的で深い学びのある授業を実現する。  「働く力」と「よりよく生活する力」を身に付けることを目指し、系統性と教科等横断的な視点を押さえる。 資質・能力を育成するための効果的な ICT 活用を推進する。	：「学習の個性化・指導の個別化による個別最適な学習に積極的に取り組んだ」と答える教職員 100% ・「生徒の身に付けた知識や経験を社会で生かすことができるような授業や指導を実施した」と答える教職員 90%以上 ・「障害による学習上又は生活上の困難さを改善・克服する視点で ICT や教材を活用することができた」と答える教職員 80%

イ 安全・安心	(ア) 人権に配慮した言動や行動の徹底	一人一人を大切にされた教育活動（指導支援及び授業づくり）をする。（学校人権目標） 互いの良さを認め、ともに支え合うことのできる集団を育成する。	・「生徒の特性を理解し、状況の変化に対応できるように個別に支援ができた」と答える教職員 100%（自立活動） ・相手を尊重し、学校生活の決まりを守って生活することができたと答える生徒 90%以上（いじめゼロ 生徒会活動）
	(イ) 命を守る、体制の整備と緊急時対応の行動力強化	危機管理マニュアルの理解推進及び危機対応能力を高める。 学校と家庭が連携した安全教育を推進する。	・「緊急時の自己の役割を認識し、適切な行動ができる」と答える教職員 100% ・「想定される危険を回避するために家庭でも話し合っている」と答える生徒・保護者 80%以上
ウ 連携	(ア) よりよく生きるための関係機関等との協働強化	個別の教育支援計画等を活用し、保護者や関係機関との連携を密にし、在籍時及び卒業後の社会生活へとつなげる。	・「保護者との指導内容の共有、関係機関との情報交換、必要に応じた支援会議など必要に応じた外部との連携を積極的に行った」と答える教職員 90%
	(イ) 地域資源（人・もの・こと）への深い理解とそれを活かした実践や発信	地域資源との連携・協働を推進した社会参加型学習の充実を図る。	・「販売会や地域作業を生徒の夢の実現に向けた目標を達成することにつなげることができた」と答える教職員 100%
		池新田高校及び御前崎市を中心に地域共生社会の実現に向けた情報（人・もの・こと）を発信する。	・生徒及び生徒の学習活動、作業製品等を通して池新田高校や地域の方が「分校及び生徒の理解につながった」と答える教職員・外部評価 100%
エ チーム	(ア) 働きがいのある職場の充実	教職員が主体性を発揮し、同僚性・協働性を高められる環境を整備する。	・「担当業務を通じて、満足感や達成感、有用感を得ることができた」と答える教職員 100% *業務改善に関しては、随時、学年主任者会で話し合う。

#### 4 監査対象期間における特色ある取組

年度	取組概要	成果及び課題
令和6年度	(1) 学校体制で取り組むカリキュラムマネジメントと「いきいき学び地域と共に よりよく生きる人」を育てる授業づくりの推進  (2) 教職員、生徒の人権意識を向上し、他者も自分も大切に作る心の醸成	・年間指導計画一覧（シラバス）について、学年ごとに評価、改善案を作成し、企画会にて全体の調整を行った。シラバスの評価も2年目となり、学習指導要領の資質・能力を押さえた上で話し合いができるようになってきた。各学年の生徒像は異なるが、各学年で育てたい力や他学年との系統性を踏まえての検討ができた。 ・学年職員の人数が少ないため、幅広く意見を求めることは難しいが、一つの論点に対して話し合いを深めることはできた。 ・人権に関して外部講師の学習会を後期は、『法教育』『命を守るための学習』のテーマで2回実施した。双方とも知識を身に付けるグループ

年 度	取組概要	成果及び課題
	<p>(3) より良く生きる人を目指した学校と家庭、地域・関係機関等との協働強化</p>	<p>と体験的な学習をするグループに分けたため、生徒の実態に即した内容、方法で学習を進めることができた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教職員の人權意識の向上を目指して、学期に一度、自己チェックシートを使った振り返りをした。項目の中には、『黙認』2項目、『職場環境』1項目、『悩み』2項目と他者を評価する部分もあり、これらの項目にチェックが付いていた職員には個別に聞き取り調査をした。不適切な発言ではなく、日常的なものの言い方だったため、当該職員には誤解を受けないように注意を促した。</li> <li>・前期同様に、金曜日の午前に近隣の事業所へ出向き、作業を行う『地域作業』を実施した。後期は8事業所と校内委託作業の9グループに分かれ、11月に2回、12月に2回、1月に4回、2月に1回の合計9回行った。学習形態は校外で行う委託作業であるが、夢の実現シート（キャリアパスポート）と連動させることにより、将来に向けて自分に必要な力を体験的かつ具体的に学ぶ学習の機会とした。また、1、2年生においては、産業現場等における実習の実習先を考えるための参考とすることもできた。</li> <li>・池新田高校生との交流学习は、作業学習が2回、花の苗植えが1回、行事交流が4回と2学期を中心に年間を通じて実施した。生徒昇降口は一つだが、校舎が異なるため、日常的な交流が少ないことが今後の課題である。</li> </ul>
令和7年度	<p>(1) 教育的ニーズの的確な実態把握と目標の達成</p> <p>(2) 命を守る、体制の整備と緊急時対応の行動力強化</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒の実態把握の方法が従来どおり教師個人個人の行動観察や前年度の引継ぎ資料と偏りが生じるため、夏季研修で学習したフォーマルな視点を基に学年において検討をするように努めた。</li> <li>・南海トラフ地震臨時情報ウが発令された際の対応に関して、マニュアルの表記を変更し、見やすい資料へと改訂した。</li> <li>・第2回危機管理委員会では、昨今の気象状況から落雷や集中的な強い雨等の対応について危機管理マニュアルの再確認を行った。情報収集の方法と最終判断の時期について話し合い、対応について合意形成を図った。</li> <li>・原子力災害に関して、御前崎市役所危機管理課の職員を外部講師に招き、有事の際の避難行動をイメージ動画で視聴した。HPに掲載されている資料から理解をしているつもりだったが、実際の場合は1週間単位で避難指示がステージアップしていくことが分かった。また、保護者引き渡しを迅速に行い、生徒が家族と共に避難できるように努めることが肝要だとも分かった。教員が原子力災害について正しい知識を身に付けたことにより、その後の生徒の避難訓</li> </ul>

年度	取組概要	成果及び課題
	<p>(3) よりよく生きるための関係機関等との協働強化</p> <p>(4) 働きがいのある職場の充実</p>	<p>練時に落ち着いて誘導をすることができた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>家庭力に不安のある生徒に関して、特別支援教育コーディネーターを窓口、居住地域の市役所福祉課及び相談支援事業所と連絡を密に取り合ってきている。そして、日々の記録を基に細かな報告をしたり、学校では関与できない問題には相談や依頼をしたりと相互に助け合う良い関係を結んでいる。</li> <li>近隣の小学校から授業に関する相談を受けたり、隣接する高校や学区の中学校から生徒に関する相談を受けたりとセンター的役割を果たす事例が3件あった。</li> <li>昨年度末、教員の特性を考え、適材適所となるような校内組織の配置をした。学年主任3人、分掌課長5人のミドルリーダーが自身の役割を認識し、実行してくれたため、教育活動が円滑に行われた。働きがいを感じたかは期末人事面談にて確認をする。</li> </ul>

5 教職員について

(1) 異動状況

区分	本務職員				小計	臨時的・会計年度任用職員				小計	合計
	教頭	教諭	教諭(任)	養護教諭		教諭(臨)	主事(臨)	非常勤講師	非常勤労務職員		
転出者		2		1	3					0	3
退職者					0			1		1	1
転入者		1		1	2					0	2
新任者					0			1		1	1
差引増減	0	△1	0	0	△1	0	0	0	0	0	△1

(2) 職員数

区分	本務職員				小計	臨時的・会計年度任用職員				小計	合計
	教頭	教諭	教諭(任)	養護教諭		教諭(臨)	主事(臨)	非常勤講師	非常勤労務職員		
男	1	8			9			1		1	10
女		8		1	9		1		1	2	11
計	1	16	0	1	18	0	1	1	1	3	21

(3) 健康管理について

【令和6年度】

ア 健康管理の推進

- ・健康診断の完全実施と事後措置の徹底を図った。健康管理医からの指導助言を受け、教職員一人一人が自己の健康管理に配慮できるように促した。
- ・職員安全衛生委員会で職場環境についての協議を行い、教職員で情報を共有した。時間外勤務時間についても教職員の平均値を示し、学校全体で健康管理のための勤務時間を意識できるようにした。また、施設老朽化に伴う危険箇所等の発見に対し、早急に対応するように心掛けた。

#### イ 感染症対策

- ・年間を通じて、新型コロナウイルス感染症、季節性インフルエンザ等の感染症に対する予防策として、「手洗い・換気・消毒」を職員室内に掲示し、教職員一人一人の感染症予防への意識を高めた。また、予防接種を受けるなどの対策に関する呼び掛けや適時性のある情報提供を実施する。

#### ウ 職場の健康づくり

- ・職場の健康づくり支援事業を活用し、筋膜リリースの講師を招聘し、身体及び心の調子を整えるためのリラックス方法を学ぶ機会を設定した。
- ・朝の打合せ時に養護教諭から健康管理に関する適時性のある情報を発信し、各自体調管理に努めるように促す。
- ・平日の最終退勤時刻の遵守及び毎週水曜日の定時退勤を実施する。夏季休業中の定時退勤及び休暇取得促進日の実施をした。休暇取得促進日に関しては100%の実施率であった。

### 【令和7年度】

#### ア 健康管理の推進

- ・健康診断の完全実施と事後措置の徹底を図る。健康管理医からの指導助言を受け、教職員一人一人が自己の健康管理に配慮できるように促した。
- ・学校職員衛生委員会で職場環境についての協議を行い、教職員で情報を共有した。時間外在校等時間については昨年同様に教職員の平均値を示し、学校全体で健康管理のために勤務時間を意識できるようにした。校内の危険箇所等の早期発見、早期改善に努めるように心掛ける。

#### イ 感染症対策

- ・年間を通じて、新型コロナウイルス感染症、季節性インフルエンザ等の感染症に対する予防策として手洗い・換気・消毒を職員室のホワイトボードに書き示し、教職員一人一人の感染症予防への意識を高める。また、予防接種を受けるなどの対策に関する呼び掛けや適時性のある情報提供を実施する。

#### ウ 職場の健康づくり

- ・職場の健康づくり支援事業を活用し、自力全体の講師を招聘し、身体及び心の調子を整えるためのセルフケアの方法を学ぶ機会を設定した。
- ・掲示板や学校職員衛生委員会を活用し、養護教諭から健康管理に関する適時性のある情報を発信し、各自体調管理に努めるように促す。
- ・平日の最終退勤時刻の遵守及び毎週水曜日の定時退勤を実施する。夏季休業中の定時退勤及び休暇取得促進日の実施をした。休暇取得促進日に関しては100%の実施率であった。

### (4) 教職員の研修について【令和6年度】

#### ア 校内研修

目的・研修内容	成果及び課題
○研修テーマ 「自分事として課題と向き合い、解決していこうとする態度を育成する作業学習 ～生徒自身が学びがいを持ち、解決していく授業づくり～」	・生徒の実態に即した作業日誌の活用により、その日に頑張ることや課題が視覚的に分かり、やるべきことに進んで活動に取り組む姿が見られた。また、意図的に生徒同士で話し合う場面を設定し、継続的に取り組んだため、仲間と相談することや先輩から後輩へ教える姿が多く見られるようになった。

○研修の重点「生徒自身が考え、行動できる授業づくり」の実践の積み上げと支援の充実をし、「生徒自身が学びがいを持ち、解決していく授業づくり」の検討	・教師によって評価の認識が異なっていたことと学年と作業班の教師間において課題や方法について共有することが課題として挙げられた。
--	---

イ 教職員の専門性向上

目的・研修内容	成果及び課題
○授業力向上研修 ・授業研究（5月）※農園芸班 ・定期訪問（9月）※手工芸班 ・授業研究（11月）※革工芸班  ○自己研修 ・他校研修会の周知や文献資料の回覧  ○夏期研修Ⅰ ・浜松学院大学 横山孝子先生の講演 「主体的・対話的で深い学び～生徒が自分事として物事を捉えて取り組む授業づくり～」  ○夏季研修Ⅱ ・スクールカウンセラー 高木紀子先生の講演 「愛着障害の理解」  ○事業所見学研修 ・矢崎部品株式会社ものづくりセンター ・株式会社キャタラー ・多機能型事業所ポトラッチ（A型） ・就労継続支援B型事業所ポトラッチ	・年間を通じて、各班が1回ずつ中心授業を担い、生徒の実態から育成する資質・能力までを深く話し合う機会を設けた。事例生徒シートを使用することにより、個に焦点を当てることができ、生徒の特性や身に付けた力などを再発見することにつながった。 ・研修課を通じて、研修案内を掲示板へ掲載し、個別に教員への働き掛けを継続的に実施した。また、職員用図書の希望を募り、優先順位に従って購入をし、授業づくりの参考資料とした。 ・人生の質の向上を実現するために、①他者からの支援を最小とした『自立』、②主体的に役割や課題を果たす『社会参加』、③職場に貢献できる『就労』について講話をいただき、学びがいのある学校生活を作り上げていく要素について学んだ。分校の実情と対応させて具体的に話していただいたので深い理解を得ることができた。 ・発達の過程から愛着障害の種類まで基礎基本について学んだ。分校生を思い浮かべながらの講義は理論ではあるものの、イメージしやすく具体化されたため、内容の濃い研修となった。 ・企業理念や障害者への支援から環境整備、送迎バスのルートまで保護者の質問に答えられるだけの情報を入手することができた。A型事業所は通過点であり、次のステップを目指すという事業所の方針に感銘を受けた。

【令和7年度】

ア 校内研修

目的・研修内容	成果及び課題
○研修テーマ「自分らしさを発揮し、主体的に取り組む姿を目指した授業づくり」  ○研修の重点 ・生徒一人一人の実態に適した目標設定と評価	・3年次研修の1年目は、「生徒理解シート」「目標達成シート」の活用及び作業日誌の活用と評価のおさえの共通理解を主な取組として、研修を進めている。中間評価から、生徒が安心して自ら考え行動できるよう「徹底した構造化と分かりやすい視覚的支援」を基盤としつつ、「生徒の働く意欲と主体性を育むための意識をもたせる指導」に重点を置くことを今後の取組として押さえた。

イ 教職員の専門性向上

目的・研修内容	成果及び課題
○授業力向上研修 ・授業研究会（5月）※農園芸班 ・定期訪問（9月）※革工芸班 ・授業研究会（11月）※手工芸班	・各作業班が年間1回ずつ授業研究を実践する機会を設定した。作業班での話し合いが全体研修と関連付けられ、学校全体での研修を深めることにつながった。

<ul style="list-style-type: none"> <li>・一人一授業研究の実施。</li> <li>○自己研修 <ul style="list-style-type: none"> <li>・研修への積極的な参加を呼び掛ける。</li> <li>・時事の話題を掲示板に掲載をする。</li> </ul> </li> <li>○夏季研修Ⅰ <ul style="list-style-type: none"> <li>・静岡大学 山元 薫先生の講演 「自分らしさを発揮し、主体的に取り組む姿を目指した授業づくりに向けて」</li> </ul> </li> <li>○夏季研修Ⅱ <ul style="list-style-type: none"> <li>・スクールカウンセラー高木紀子先生の学習会 「検査を含めた実態の見取りと支援方法」</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指導カードによる一人一授業研究を実施した。作業学習をベースに実践し、全体研修への関連付けをした。前述の班別研修と併せて個人の研修が深まった。</li> <li>・学校の研究発表会は研修課からの情報提供とし、それ以外は管理職が掲示板を活用して情報を提供した。端的に見やすく、興味関心を引くようなレイアウトを目標として記事を掲げた。</li> <li>・知的障害教育の基礎から各教科等を合わせた指導、高等部における作業学習まで、分かっているつもりの部分を言語化していただき、参加者で共通認識を図るよい機会となった。ただし、出張等により全教員がそろわなかったことが非常に残念である。</li> <li>・行動観察（インフォーマル）を主な手法として生徒の見取りを行っているが、標準化された検査（フォーマル）から見取ることも大事であることを学んだ。アセスメントの全体的な数値のみならず、各領域の数値にも着目してみると、どのような認知の特性があるか共通項を見出すことできることを演習から体感することもできた。</li> </ul>
--	---

## 6 防災対策について

令和6年度は、生徒の事故1件と生徒の事件1件の計2件が報告案件であった。事故は自宅2階からの転落であり、目撃者がいないため、分かっていない部分もあるが、打撲程度のけがで済んだ。事件は静岡市内で発生し、交番で道を尋ねた際に持ち物検査を受け、刃物を所持していたことから保護者引き渡しとなった。事故に関しては保護者と今後の家庭での見守り方について話し合いをした。事件に関しては、保護者と家庭生活の見直しと、本人への個別指導を一定期間行い、事件の振り返りと今後の家庭生活について指導をした。その他の生徒に関しては、「自分の命は自分で守る」を合言葉として、防災、防災に関する外部講師の話の聞き、危機対応の意識を高めることができた。

令和7年度は、学校と家庭が連携した安全教育の推進をテーマに、学校での防災及び防犯学習の内容や様子を保護者へ伝え、家庭内でも有事の際の行動を確認することに力を注いでいる。昨年8月に南海トラフ地震臨時情報（巨大地震注意）が発令されたことや自主通学生が増えたことにより、生徒自身や保護者の危機意識も高まってきている。

年 度	月 日	内 容
令和6年度	4月2日	第1回危機管理委員会
	4月3日	職員研修（危機管理マニュアルガイダンス） 通学路安全点検
	4月15日	第1回防災訓練（地震・津波）
	5月7日	生徒捜索対応研修
	5月17日	生徒引き渡し訓練（1年生）
	7月24日	不審者対応訓練
	7月31日	職員防災研修
	9月4日	第2回防災訓練（高校と合同：地震）
	9月19日	第3回防災訓練（原子力）
	12月19日	第4回防災訓練（高校と合同：火災）
	1月14日～	災害用伝言ダイヤル訓練（録音訓練）

年 度	月 日	内 容
	1月17日 3月5日 5月～2月 (毎月1回)	第2回危機管理委員会 (令和6年度危機管理マニュアル改訂) シェイクアウト訓練 (地震)

年 度	月 日	内 容
令和7年度	4月2日	第1回危機管理委員会 職員研修 (危機管理マニュアルガイダンス)
	4月4日	通学路安全点検 生徒搜索対応研修
	4月14日	第1回防災訓練 (地震・津波)
	5月7日	生徒引き渡し訓練 (1年生)
	7月31日	不審者対応訓練 (菊川警察署員)
	8月8日	職員防災研修 (原子力: 御前崎市危機管理課)
	9月2日	第2回防災訓練 (高校と合同: 地震)
	9月11日	第3回防災訓練 (原子力)
	12月18日	第4回防災訓練 (高校と合同: 火災)
	1月13日～ 1月16日	災害用伝言ダイヤル訓練 (録音訓練)
	3月4日	第2回危機管理委員会 (令和7年度危機管理マニュアル改訂)
	5月～2月 (毎月1回)	シェイクアウト訓練 (地震)

7 学校開放について  
なし

## 事務執行の根拠法令調

項 目	根 拠 法 令
1 学校教育に関する こと	教育基本法（第1条、第2条） 学校教育法（第1条、第2条、第3条、第72条、第73条、第74条、 第76条、第77条、第82条） 学校教育法施行規則 学校保健安全法（第5条） 学校給食法（第4条） 特別支援学校の幼稚部及び高等部における学校給食に関する法律 （第3条） いじめ防止対策推進法（第8条） 静岡県立学校設置条例 静岡県立特別支援学校学則 静岡県就学支援委員会規則 特別支援学校小学部・中学部学習指導要領 特別支援学校高等部学習指導要領
2 学校の管理・運営 に関すること	学校教育法（第137条） 地方教育行政の組織及び運営に関する法律（第33条） 静岡県立学校管理規則 教育公務員特例法（第21条、第22条） 学校保健安全法（第15条、第27条） 静岡県立学校職員安全衛生管理規程 静岡県立学校の施設等の開放に関する要綱 学校図書館法（第3条、第4条） 静岡県教育委員会処務規程 特別支援学校への就学奨励に関する法律（第2条、第3条） 特別支援学校への就学奨励に関する法律施行令 特別支援学校への就学奨励に関する法律施行規則 特別支援学校就学奨励費負担金等及び要保護及準要保護児童生徒 援助費補助金交付要綱

□□□□□ □

## 学校施設の概要

### 1 面積及び所有区分

#### (1) 本校

(令和7年9月30日現在)

区 分	面 積 m <sup>2</sup>	所 有 内 訳				摘 要
		県 有 m <sup>2</sup>	国 有 m <sup>2</sup>	市町村有 m <sup>2</sup>	民 有 m <sup>2</sup>	
学 校 敷 地	22,999.98	22,999.98				
内 訳	校 舎 敷 地	19,408.53	19,408.53			
	運 動 場 敷 地	3,591.45	3,591.45			
	そ の 他 の 敷 地					
校 舎	建 4,195.49	4,195.49				
	延 7,390.34	7,390.34				
体 育 館	建 563.08	563.08				
	延 549.96	549.96				
そ の 他 の 建 物	建 106.02	106.02				
	延 106.02	106.02				
プ ー ル	276	276				大 25m×9.2m 小 9.2m×5m

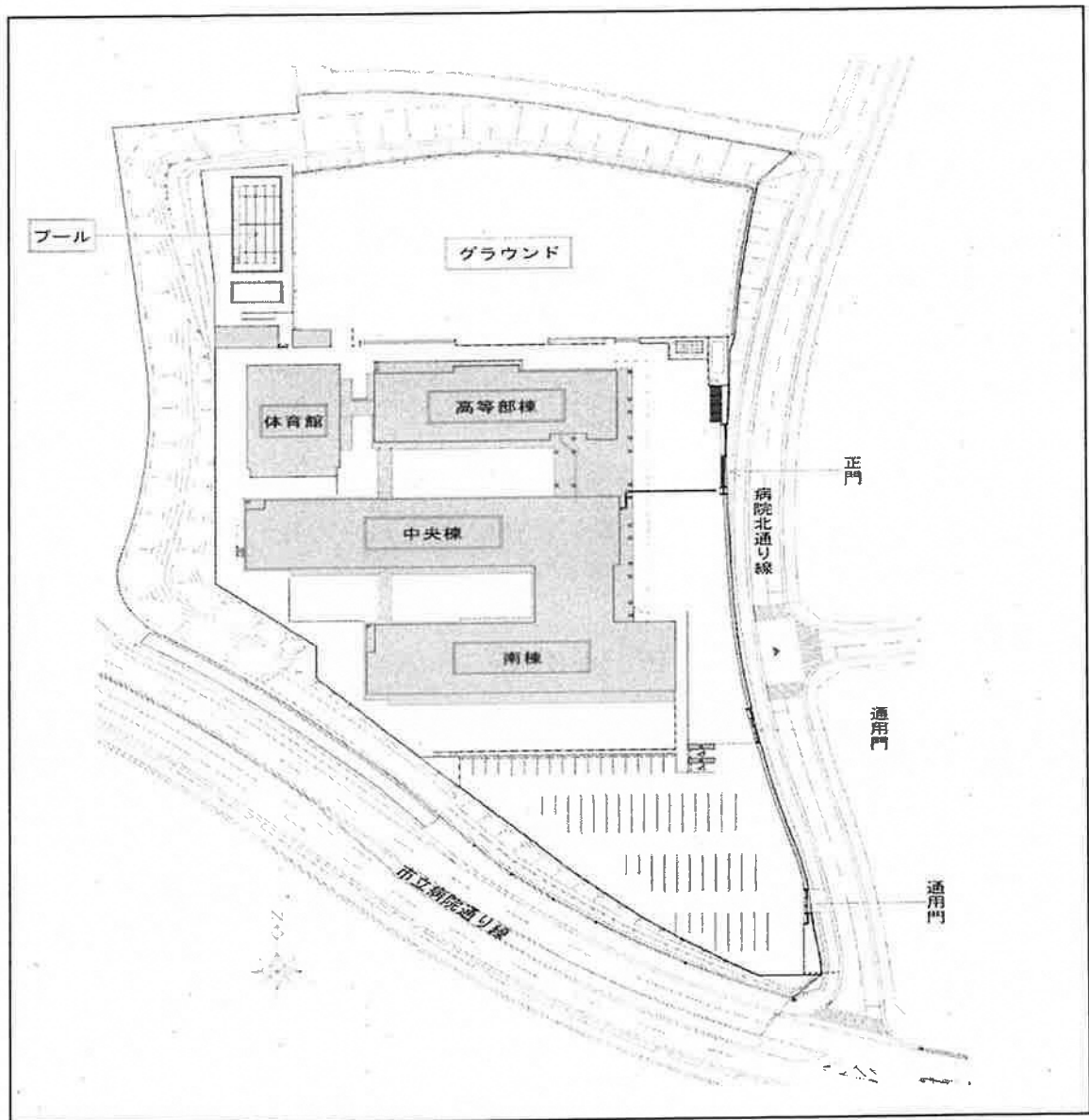
#### (2) 御前崎分校

(令和7年9月30日現在)

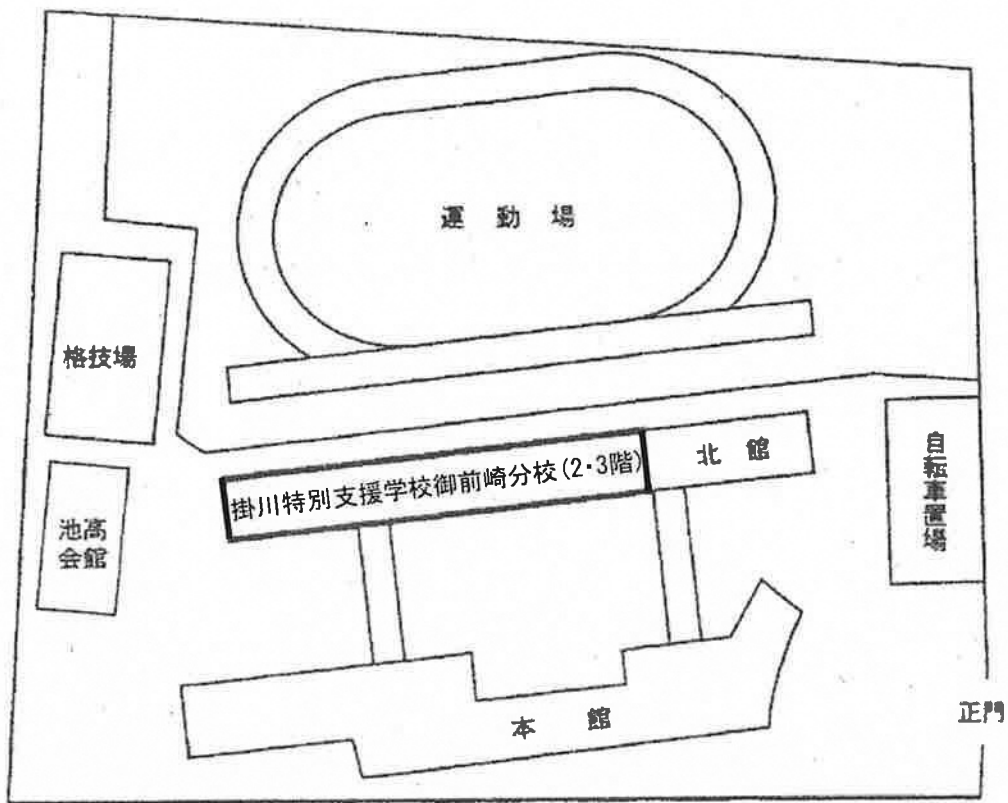
区 分	面 積 m <sup>2</sup>	所 有 内 訳				摘 要
		県 有 m <sup>2</sup>	国 有 m <sup>2</sup>	市町村有 m <sup>2</sup>	民 有 m <sup>2</sup>	
校 舎	建 838.69	838.69				池新田高等学校使用承認
	延 838.69	838.69				
そ の 他 の 建 物	建 333.00	333.00				池新田高等学校使用承認
	延 333.00	333.00				

2 配置・規模等  
(1) 校舎の配置図

【本校】



【御前崎分校】



(2) 学校施設の規模等(法面・演習林等を除く)

区 分		学校敷地面積	校舎延面積	運動場面積
当 校	本 校	22,999.98m <sup>2</sup>	7,390.34m <sup>2</sup>	3,591.45m <sup>2</sup>
	御前崎分校	0.00m <sup>2</sup>	838.69m <sup>2</sup>	0.00m <sup>2</sup>
県 平 均		19,266.88m <sup>2</sup>	6,361.36m <sup>2</sup>	5,302.07m <sup>2</sup>

在籍生徒調(本校・分校)

(令和7年9月30日現在)(単位:人)

学年	学科別 区分	小学部 (本校)			中学部 (本校)			高等 (本校)				(本校計)				高等 (御前崎分校)				(合計)			
		男子	女子	計	男子	女子	計	定員	男子	女子	計	定員	男子	女子	計	定員	男子	女子	計	定員	男子	女子	計
1年	入学者	24	2	26	15	7	22	27	12	9	21	27	51	18	69	18	9	6	15	45	60	24	84
	増加																						
	減少	1		1								1		1					1		1		
	現在	23	2	25	15	7	22		12	9	21		50	18	68		9	6	15		59	24	83
2年	入学者	17	3	20	16	10	26	36	15	12	27	36	48	25	73	18	8	6	14	54	56	31	87
	増加																						
	減少	3		3					2		2		5		5						5		5
	2年時当初	14	3	17	16	10	26		13	12	25		43	25	68		8	6	14		51	31	82
	増加																						
	減少					1	1							1	1							1	1
現在	14	3	17	16	9	25		13	12	25		43	24	67		8	6	14		51	30	81	
3年	入学者	15	9	24	29	3	32	24	9	8	17	24	53	20	73	18	8	4	12	42	61	24	85
	増加	1		1								1		1					1		1		
	減少															1		1		1	1		
	2年時当初	16	9	25	29	3	32		9	8	17		54	20	74		7	4	11		61	24	85
	増加																						
	減少	1		1	3		3						4		4						4		4
	3年時当初	15	9	24	26	3	29		9	8	17		50	20	70		7	4	11		57	24	81
	増加																						
減少																							
現在	15	9	24	26	3	29		9	8	17		50	20	70		7	4	11		57	24	81	
4年	入学者	23	5	28								23	5	28					23	5	28		
	増加																						
	減少																						
	2年時当初	23	5	28								23	5	28					23	5	28		
	増加																						
	減少	1	1	2								1	1	2					1	1	2		
	3年時当初	22	4	26								22	4	26					22	4	26		
	増加																						
	減少	1		1								1		1					1		1		
	4年時当初	21	4	25								21	4	25					21	4	25		
増加																							
減少																							
現在	21	4	25								21	4	25					21	4	25			

在籍生徒調(本校・分校)

(令和7年9月30日現在)(単位:人)

学年	学科別 区分	小学部 (本校)			中学部 (本校)			高等 (本校)			(本校計)			高等 (御前崎分校)			(合計)		
		男子	女子	計	男子	女子	計	定員	男子	女子	計	定員	男子	女子	計	定員	男子	女子	計
5年	入学者	17	5	22							17	5	22				17	5	22
	増加	1		1							1		1				1		1
	減少	1		1							1		1				1		1
	2年時当初	17	5	22							17	5	22				17	5	22
	増加	1		1							1		1				1		1
	減少																		
	3年時当初	18	5	23							18	5	23				18	5	23
	増加																		
	減少																		
	4年時当初	18	5	23							18	5	23				18	5	23
	増加	1		1							1		1				1		1
	減少	1		1							1		1				1		1
5年時当初	18	5	23							18	5	23				18	5	23	
増加																			
減少																			
現在	18	5	23							18	5	23				18	5	23	
6年	入学者	9	4	13							9	4	13				9	4	13
	増加																		
	減少																		
	2年時当初	9	4	13							9	4	13				9	4	13
	増加																		
	減少																		
	3年時当初	9	4	13							9	4	13				9	4	13
	増加		1	1								1	1				1	1	
	減少																		
	4年時当初	9	5	14							9	5	14				9	5	14
	増加	2		2							2		2				2		2
	減少	1		1							1		1				1		1
5年時当初	10	5	15							10	5	15				10	5	15	
増加																			
減少	1		1							1		1				1		1	
6年時当初	9	5	14							9	5	14				9	5	14	
増加																			
減少																			
現在	9	5	14							9	5	14				9	5	14	
合計		100	28	128	57	19	76	34	29	63	191	76	267	24	16	40	215	92	307

## 入学志願者及び入学者数調

(本校)

区 分		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
学 科 別		高等部	高等部	高等部	高等部	高等部
生徒定員 (A)		33	33	24	36	27
募集者数 (B)		33	33	24	36	27
志願者数	男	22 ( )	19 ( )	9 ( )	15 ( )	12 ( )
	女	7 ( )	5 ( )	9 ( )	12 ( )	9 ( )
	計(C)	29 ( )	24 ( )	18 ( )	27 ( )	21 ( )
受検者数	男	22 ( )	19 ( )	9 ( )	15 ( )	12 ( )
	女	7 ( )	5 ( )	8 ( )	12 ( )	9 ( )
	計(D)	29 ( )	24 ( )	17 ( )	27 ( )	21 ( )
合格者数	男	22 ( )	19 ( )	9 ( )	15 ( )	12 ( )
	女	7 ( )	5 ( )	8 ( )	12 ( )	9 ( )
	計(E)	29 ( )	24 ( )	17 ( )	27 ( )	21 ( )
志願倍率 (C)/(B)		0.88	0.73	0.75	0.75	0.78
受検倍率 (D)/(B)		0.88	0.73	0.71	0.75	0.78
入学者数	男	22	19	9	15	12
	女	7	5	8	12	9
	計 (F)	29	24	17	27	21
充足率 (F)/(A)		0.88	0.73	0.71	0.75	0.78

(分校)

区 分		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
学 科 別		高等部	高等部	高等部	高等部	高等部
生徒定員 (A)		18	18	18	18	18
募集者数 (B)		18	18	18	18	18
志願者数	男	13 ( )	8 ( )	8 ( )	8 ( )	9 ( )
	女	7 ( )	5 ( )	4 ( )	6 ( )	6 ( )
	計(C)	20 ( )	13 ( )	12 ( )	14 ( )	15 ( )
受検者数	男	13 ( )	8 ( )	8 ( )	8 ( )	9 ( )
	女	7 ( )	5 ( )	4 ( )	6 ( )	6 ( )
	計(D)	20 ( )	13 ( )	12 ( )	14 ( )	15 ( )
合格者数	男	13 ( )	8 ( )	8 ( )	8 ( )	9 ( )
	女	7 ( )	5 ( )	4 ( )	6 ( )	6 ( )
	計(E)	20 ( )	13 ( )	12 ( )	14 ( )	15 ( )
志願倍率 (C)/(B)		1.11	0.72	0.67	0.78	0.83
受検倍率 (D)/(B)		1.11	0.72	0.67	0.78	0.83
入学者数	男	13	7	8	8	9
	女	7	5	4	6	6
	計 (F)	20	12	12	14	15
充足率 (F)/(A)		1.11	0.67	0.67	0.78	0.83

### 卒業生の動向調

区 分		本 校		御前崎分校		合 計	
		中学部	高等部		高等部		
			本 科	専 攻 科	本 科		専 攻 科
高等学校 (本科)	全日制						
	定時制						
	通信制						
特別支援学校高等部		14				14	
その他高等学校等							
大学等	大学(学部)						
	短期大学(本科)						
	大学・短大の通信教育学部等						
	その他大学等						
特別支援学校高等部専攻科							
専修学校(高等課程)		1				1	
専修学校(一般課程)・各種学校							
公共職業能力開発施設等							
就 職			4	6		10	
上 記 以 外 ※			19	5		24	
不 詳 ・ 死 亡							
計 (卒業者総数)		15	23	11		49	

(再掲) 「上記以外※」のうち、社会福祉施設等入所、通所者

区 分		本 校		御前崎分校		合 計	
		中学部	高等部		高等部		
			本 科	専 攻 科	本 科		専 攻 科
児童福祉施設							
障害者支援施設			19	5		24	
(うち就労系支援事業利用者)		( )	(13)	(5)	( )	(18)	
医療機関							
計			19	5		24	

## 生徒の状況

### 1 生徒の出身地域及び通学方法

#### (1) 出身地

(本校) (令和7年9月30日現在) (単位:人)

市 町 名	掛川市	菊川市	御前崎市	牧之原市	合 計
児童生徒数	174	68	24	1	267
構成比%	65.2%	25.4%	9.0%	0.4%	100%

(御前崎分校)

市 町 名	掛川市	菊川市	御前崎市	牧之原市	合 計
生徒数	7	10	13	10	40
構成比%	17.5%	25.0%	32.5%	25.0%	100%

#### (2) 通学方法

(本校) (令和7年9月30日現在) (単位:人)

区 分	スクールバス	交通機関	自家用車 (送迎)	徒 歩	自 転 車	合 計
児童生徒数	128	16	114		9	267
構成比%	47.9%	6.0%	42.7%		3.4%	100%

(御前崎分校)

区 分	交通機関	自家用車 (送迎)	徒 歩	自 転 車	合 計
生徒数	31	4	3	2	40
構成比%	77.5%	10.0%	7.5%	5.0%	100%

### 2 部(クラブ)の加入状況

(本校) なし

(御前崎分校)(令和7年9月30日現在) (単位:人)

区 分	高 等 部			計
	運 動 部	文 化 部	未加入者	
部(クラブ)数	1	1		2
男子	1年	3		6
	2年	3	2	3
	3年	2		5
	計(A)	8	2	14
	構成比	33.3%	8.3%	58.3%
女子	1年	1	1	4
	2年		1	5
	3年	2	1	1
	計(B)	3	3	10
	構成比	18.8%	18.8%	62.6%
合計	(A)+(B)	11	5	24
	構成比	27.5%	12.5%	60.0%

3 障害別児童生徒数

(本校)

(令和7年9月30日現在) (単位:人)

区 分	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合 計	学級数
小学部	単一障害	13	8	14	11	9	61	13
	重複障害	12	5	7	8	12	50	18
	肢体重複		4	3	6	2	17	7
	合計	25	17	24	25	23	128	38
中学部	単一障害	11	17	19			47	9
	重複障害	10	6	5			21	7
	肢体重複	1	2	5			8	4
	合計	22	25	29			76	20
高等部	単一障害	14	17	12			43	6
	重複障害	3	3	2			8	3
	肢体重複	4	5	3			12	5
	合計	21	25	17			63	14

(御前崎分校)

区 分	1年	2年	3年	合 計	学級数	
高等部	単一障害	15	14	11	40	6
	重複障害					
	肢体重複					
	合計	15	14	11	40	6

4 起因疾患別児童生徒数

(本校)

(令和7年9月30日現在) (単位:人)

区 分	脳 性	染色体	自 閉 症 スペクトラム	その他の知的 発達遅滞	計
小学部	12	20	59	37	128
中学部	5	16	44	11	76
高等部	13	4	21	25	63
計	30	40	124	73	267

(御前崎分校)

区 分	脳 性	染色体	自 閉 症 スペクトラム	その他の知的 発達遅滞	計
高等部		3	11	26	40
計		3	11	26	40

特別支援学校における生産物売払調

(令和7年9月30日現在)

(本校)

主な生産品目				
令和7年度	<p>&lt;手芸品・工作物&gt; 小物入れ、コースター、お盆、ネームホルダー、カラフルストラップ、コード留め、コインケース、ペン立て、トイレトペーパー入れ、ダストボックス、かご</p> <p>&lt;農作物・園芸品&gt; 苗</p> <p>&lt;陶芸品&gt; コップ、大皿、豆皿、八角小鉢、角皿、茶碗、中皿</p>			
	<table border="1"> <tr> <td>① 売払金額</td> <td>61,750 円</td> <td>②令和6年度との差額</td> <td>△601,200 円</td> </tr> </table>	① 売払金額	61,750 円	②令和6年度との差額
① 売払金額	61,750 円	②令和6年度との差額	△601,200 円	
令和6年度	<p>&lt;手芸品・工作物&gt; お盆、小物入れ、コースター、ダストボックス、トイレトペーパー入れ、ペンクリップ、コード留め、かご、カラフルストラップ、ポチ袋、ネームホルダー、油ポイっと、油ぽいっとちゃん、ウォールポケット、エコバッグ、干支だるま、カレンダー、ガーランド、巾着、コインケース、小物トレイ、サシェ、トレイ、鍋敷き、ポーチ、箸、箸置きセット、ひのきだま、封筒、フラワーベース、ベルトキーホルダー、ペンケース、ペン立て、ポケットティッシュケース、ポンポンクリップ</p> <p>&lt;農作物・園芸品&gt; オクラ、バジル、キバナコスモス、枝豆、ケイトウ、アリッサム、かいわれ大根、こかぶ、サイネリア、ストック、ちんげんさい、なでしこ、ノースポール、苗、ベビーリーフ、ハウレンソウ、水菜、ミニ大根</p> <p>&lt;陶芸品&gt; 湯のみ、角皿、丸皿、茶碗、フリーカップ、長皿、八角小鉢、とっくり、どんぶり、ポケットティッシュケース、マグカップ、豆皿、盛わん、れんげ</p>			
	<table border="1"> <tr> <td>① 売払金額</td> <td>662,950 円</td> <td>②令和5年度との差額</td> <td>△312,950 円</td> </tr> </table>	① 売払金額	662,950 円	②令和5年度との差額
① 売払金額	662,950 円	②令和5年度との差額	△312,950 円	
	<p>&lt;手芸品・工作物&gt; 油ポイっと、アルバム、エコトート、エコバッグ、干支だるま、お掃除セット、お花紙小物入れ、お花紙マグネット、お盆、カードケース、髪留め、カラフルストラップ、カレンダー、キーホルダー、巾着バック、コインケース、コースター、しおり、コード留め、小物入れ、小物トレイ、祝儀袋、ショルダーエコバッグ、</p>			

令和5年度	<p>卓上鏡、タブレットケース、つるしだるま雛、ティッシュカバー、ティッシュケース、ティッシュボックス、トイレトペーパー入れ、時計、トレイ、鍋敷き、ノート、箸、箸置き、箸袋、羽ストラップ、一筆箋、布巾、フクロウストラップ、ヘアゴム、ペンクリップ、ペンケース、ペン立て、弁当包み、ポーチ、ポチ袋、ポンポンキーホルダー、マグネット、丸巾着、ミニバスケット、ミニポシェット、メッセージカード、メモ帳、リース、リボン</p> <p>&lt;農作物・園芸品&gt;</p> <p>あさがお、アスター、枝豆、キンギョソウ、コマツナ、サコッシュ、サシェ、サラダ水菜、シロタエギク、スイカ、トルコキキョウ、なす、ノースポール、パンジー、ビオラ、ヒマワリ、ブロッコリー、ほうれん草、レタス、レモンバーム、レンゲ、ローズマリー、ロマネスコ</p> <p>&lt;陶芸品&gt;</p> <p>植木鉢、角皿、傘立て、小鉢、四角小鉢、茶碗、ティーカップ、徳利、どんぶり、長皿、平皿、フリーカップ、ペチュニア、マグカップ、豆皿、丸皿、盛わん、湯呑</p>		
	①売払金額	975,900円	②令和4年度との差額

□□□□□ □

特別支援学校における生産物売払調

(令和7年9月30日現在)

(御前崎分校)

主な生産品目			
令和7年度	<革工芸品> キーホルダー、コインケース、スマホショルダー、ポーチ、メガネケース <手工芸品> リース、ペン立て、キーホルダー、バッグ、小物入れ <農作物・園芸品> じゃがいも、苗、たまねぎ、ブロッコリー	① 売払金額	118,250 円
			②令和6年度との差額
令和6年度	<革工芸品> キーホルダー、コインケース、スマホショルダー、ペンケース、名刺入れ、コー スター <手工芸品> リース、ペン立て、キーホルダー、バッグ、小物入れ、置物、かご <農作物・園芸品> じゃがいも、苗、たまねぎ、ブロッコリー、長ネギ、種	① 売払金額	542,350 円
			②令和5年度との差額
令和5年度	<革工芸品> キーホルダー、コインケース、スマホショルダー、IDフォルダー、ペンケース、 名刺入れ <手工芸品> かご、リース、プレスレット、小物入れ、置物、バッグ <農作物・園芸品> じゃがいも、大根、苗、にんじん、ほうれん草、小松菜、キャベツ、ブロッコリー、 水菜、ネギ	① 売払金額	663,250 円
			②令和4年度との差額

□□□□□ □

## 預 金 調

(令和7年9月30日現在)

金融機関名	預金種類	口座番号	口座名義人	残高(円)	摘 要
静岡銀行掛川支店	無利息型普通預金	944076	静岡県立掛川特別支援学校 資金前渡者 山崎 かおる	0	給料
静岡銀行掛川支店	無利息型普通預金	944054	(自振口) 静岡県立掛川特別支援学校 資金前渡者 山崎 かおる	0	通信・光熱水費 社会保険料
静岡銀行掛川支店	無利息型普通預金	944065	静岡県立掛川特別支援学校 奨励費 代理受領者 山崎 かおる	0	就学奨励費
残 高 合 計				0	

□□□□ □

### 郵 券 等 受 払 調

(令和7年9月30日現在)

(単位:枚、円)

(本校)

区 分	種 類	令和6年度						令和7年度						摘 要		
		繰 越		受 入		払 出		繰 越		受 入		払 出			差引現在高	
		枚数	金額	枚数	金額	枚数	金額	枚数	金額	枚数	金額	枚数	金額		枚数	金額
郵券	10円券	18	180	0	0	0	0	18	180	0	0	0	0	18	180	文 書 発 送 用
	20円券	0	0	21	420	0	0	21	420	0	0	0	0	21	420	
	26円券	0	0	66	1,716	66	1,716	0	0	1	26	1	26	0	0	
	84円券	109	9,156	0	0	109	9,156	0	0	0	0	0	0	0	0	
	110円券	0	0	64	7,040	30	3,300	34	3,740	50	5,500	49	5,390	35	3,850	
	120円券	21	2,520	0	0	0	0	21	2,520	0	0	0	0	21	2,520	
計			11,856		9,176		14,172		6,860		5,526		5,416		6,970	
iTunes カード			600		0		0		600		0		0		600	アプ リ 購 入 用
計			600		0		0		600		0		0		600	

□□□□ □

### 郵 券 等 受 払 調

(令和7年9月30日現在)

(単位:枚、円)

(御前崎分校)

区 分	種 類	令和6年度						令和7年度						摘 要		
		繰 越		受 入		払 出		繰 越		受 入		払 出			差引現在高	
		枚数	金額	枚数	金額	枚数	金額	枚数	金額	枚数	金額	枚数	金額		枚数	金額
郵券	26円券	0	0	35	910	35	910	0	0	0	0	0	0	0	0	文 書 発 送 用
	84円券	65	5,460	0	0	65	5,460	0	0	0	0	0	0	0	0	
	110円券	0	0	4	440	4	440	0	0	49	5,390	49	5,390	0	0	
計			5,460		1,350		6,810		0		5,390		5,390		0	

□□□□ □

### 材 料 品 受 払 調

(本 校)

(令和7年9月30日現在)

区分 品名	令和6年度						令和7年度						差引現在高	摘要	
	繰越		受入		払出		繰越		受入		払出				
	数量	金額 (円)	数量	金額 (円)	数量	金額 (円)	数量	金額 (円)	数量	金額 (円)	数量	金額 (円)			数量
牛革タンロー	0	0			0	0	0	0	473デシ	75,680	473デシ	75,680	0	0	
牛革ヴァインセント	0	0	779デシ	99,712	779デシ	99,712	0	0	0.0	0	0	0	0	0	
エンボスレザーかごめ	0	0	271デシ	46,341	271デシ	46,341	0	0	0.0	0	0	0	0	0	
赤9号(粘土)	0	0	320kg	63,360	320kg	63,360	0	0	0.0	0	0.0	0	0	0	
美濃水ひ(粘土)	0	0	120kg	23,760	120kg	23,760	0	0	0	0	0	0	0	0	
計		0		233,173		233,173		0		75,680		75,680		0	

□□□□ □

### 材 料 品 受 払 調

(御前崎分校)

(令和7年9月30日現在)

区分 品名	令和6年度						令和7年度						差引現在高	摘要	
	繰越		受入		払出		繰越		受入		払出				
	数量	金額 (円)	数量	金額 (円)	数量	金額 (円)	数量	金額 (円)	数量	金額 (円)	数量	金額 (円)			数量
牛革タンロー	0	0	1,902	310,026	1,902	310,026	0	0	0	0	0	0	0	0	
計		0		310,026		310,026		0		0		0		0	

委託料等歳出予算執行状況節別集計表

(令和6年度)

節名	会計	款	項	目	執行済額 (円)		
					令和5年度	令和6年度	うち、令和5年度からの繰越額分
(12)委託料	一般	教育費	特別支援学校費	特別支援学校管理費	/	51,568,368	/
	一般	教育費	学校教育費	健康体育費		17,789,984	
計					62,546,970	69,358,352	0
(14)工事請負費	一般	教育費	教育委員会費	教育管理費	/	671,000	/
計					865,700	671,000	0
(16)公有財産購入費					/		/
計					0	0	0
(17)備品購入費	一般	教育費	特別支援学校費	特別支援学校管理費	/	1,276,660	/
	一般	教育費	教育委員会費	教育管理費		742,500	
計					4,855,070	2,019,160	0
(18)負担金、補助及び交付金	一般	教育費	特別支援学校費	特別支援学校管理費	/	66,700	/
計					48,500	66,700	0
(21)補償、補填及び賠償金					/		/
計					0	0	0

委託料等歳出予算執行状況節別集計表

(令和7年9月30日現在)

節名	会計	款	項	目	執行済額 (円)	
						うち、令和6年度からの繰越額分
(12)委託料	一般	教育費	特別支援学校費	特別支援学校管理費	21,374,785	
	一般	教育費	学校教育費	健康体育費	7,329,299	
計					28,704,084	0
(14)工事請負費	一般	教育費	教育委員会費	教育管理費	1,100,000	
計					1,100,000	0
(16)公有財産購入費						
計					0	0
(17)備品購入費	一般	教育費	特別支援学校費	特別支援学校管理費	238,150	
計					238,150	0
(18)負担金、補助及び交付金	一般	教育費	特別支援学校費	特別支援学校管理費	52,500	
計					52,500	0
(21)補償、補填及び賠償金						
計					0	0

□□□□□ □

委 託 料 に

整理 番号	委託業務名	受託者	当初設計金額	契約金額		
				当初額	変更 増減額	計
1	給食業務委託	㈱ミカサ	51,184,672	51,150,000	0	51,150,000
2	スクールバス運行管 理業務委託	大新東(株)静岡 営業所	17,028,000	16,236,000	0	16,236,000
3	通学バス輸送業務委 託	静鉄ジョイス テップバス(株)旅 行営業課	138,897,605	135,627,030	0	135,627,030

関 する 調

(令和6年度)

契約締結方法	契約期間	支出年月日	金額	委託業務の内容	摘要
不随	5.8.1 ～ 8.7.31	支出済累計額	(11,366,080)	給食調理（配膳）業務 5年度 120回 6年度 189回 7年度 190回 8年度 68回	2長期
		6.5.31	1,420,760		
		6.6.28	1,420,760		
		6.7.31	1,420,760		
		6.8.30	1,420,760		
		6.9.30	1,420,760		
		6.10.31	1,420,760		
		6.11.29	1,420,760		
		6.12.26	1,420,760		
		7.1.31	1,420,760		
		7.2.28	1,420,760		
		7.3.31	1,420,760		
7.4.30	1,420,760				
	小計	17,049,120			
一般	6.4.1 ～ 9.3.31	6.5.31	451,000	スクールバス運行管理 大型バス 1台 運行日数 6年度 202日 7年度 202日 8年度 202日 管理日数 21日	3長期
		6.6.28	451,000		
		6.7.31	451,000		
		6.8.30	451,000		
		6.9.30	451,000		
		6.10.31	451,000		
		6.11.29	451,000		
		6.12.26	451,000		
		7.1.31	451,000		
		7.2.28	451,000		
		7.3.31	451,000		
		7.4.30	451,000		
	小計	5,412,000			
一般	6.4.1 ～ 9.3.31	6.5.31	3,767,417	スクールバス運行 大型バス 3台 運行日数 6年度 202日 7年度 202日 8年度 202日	3長期
		6.6.28	3,767,417		
		6.7.31	3,767,417		
		6.8.30	3,767,417		
		6.9.30	3,767,417		
		6.10.31	3,767,417		
		6.11.29	3,767,417		
		6.12.26	3,767,417		
		7.1.31	3,767,417		
		7.2.28	3,767,417		
		7.3.31	3,767,417		
		7.4.30	3,767,417		
	小計	45,209,004			

□□□□□ □

委 託 料 に

整理 番号	委託業務名	受託者	当初設計金額	契約金額		
				当初額	変更 増減額	計
4	エレベーター保守点 検業務委託	三菱電機ビル ソリューションズ ㈱中部支社静 岡支店	587,400	587,400	0	587,400
5	防鼠防虫業務委託	㈱帝装化成掛 川営業所	85,800	85,800	0	85,800
6	一般廃棄物収集運搬 処分業務委託	中遠環境保全 ㈱	運搬料 1回 2,200 可燃物処分料 1kg 16.5	運搬料 1回 2,035 可燃物処分料 1kg 16.5	0	運搬料 1回 2,035 可燃物処分料 1kg 16.5
7	産業廃棄物収集運搬 処分委託	サンワ環境整 備㈱	38,500	38,500	0	38,500
8	産業廃棄物(厨房廃 油)収集・運搬委託	㈱袋井清掃	28,050	28,050	0	28,050
9	産業廃棄物(厨房廃 油)収集・運搬及び処 分委託	㈱大洋サービ ス	13,750	13,750	0	13,750

関 する 調

(令和6年度)

契約締結方法	契約期間	支出年月日	金額	委託業務の内容	摘要
随契	6.4.1 ～ 7.3.31	6.5.31	28,710	昇降機保守点検 寝台用1台 定員11人・積載750kg 遠隔点検診断 随時 法定点検 年1回	随契1号 (少額)
		6.6.28	28,710		
		6.7.31	84,810		
		6.8.30	28,710		
		6.9.30	28,710		
		6.10.31	84,810		
		6.11.29	28,710		
		6.12.26	28,710		
		7.1.31	103,290		
		7.2.28	28,710		
7.3.31	28,710				
		7.4.30	84,810		
		小計	587,400		
随契	6.4.5 ～ 7.3.31	7.10.31	42,900	ネズミ及びゴキブリ等防除業務 巡回点検 月1回 薬剤散布等 年2回	随契1号 (少額)
		7.4.15	42,900		
		小計	85,800		
随契	6.4.12 ～ 7.3.31	6.5.31	25,113	厨房から搬出される一般廃棄物の収集運搬処分業務 年間 146回	単価契約 随契1号 (少額)
		6.6.28	43,714		
		6.7.31	42,938		
		6.8.30	33,066		
		6.9.30	2,810		
		6.10.31	32,802		
		6.11.29	45,540		
		6.12.26	36,393		
		7.1.31	30,888		
		7.2.28	31,333		
7.3.31	35,469				
		7.4.30	21,098		
		小計	381,164		
随契	6.4.5 ～ 6.8.30	6.6.28	38,500	厨房から排出される不燃物の収集運搬処分業務 コンテナ(3㎡)1台	随契1号 (少額)
随契	6.4.15 ～ 6.8.30	6.6.14	28,050	厨房グリストラップの汚泥の清掃、運搬 A:500kg	随契1号 (少額)
随契	6.4.15 ～ 6.8.30	6.6.21	13,750	厨房グリストラップの汚泥の処分 A:500kg	随契1号 (少額)

□□□□□ □

委 託 料 に

整理 番号	委託業務名	受託者	当初設計金額	契約金額		
				当初額	変更 増減額	計
10	産業廃棄物収集運搬 処分委託	サンワ環境整 備㈱	38,500	38,500	0	38,500
11	産業廃棄物(厨房廃 油)収集・運搬委託	㈱袋井清掃	28,050	28,050	0	28,050
12	産業廃棄物(厨房廃 油)収集・運搬及び処 分委託	㈱太洋サービ ス	13,750	13,750	0	13,750
13	産業廃棄物収集運搬 処分委託	サンワ環境整 備㈱	38,500	38,500	0	38,500
14	産業廃棄物収集運搬 処分委託	㈱ホクセイ	23,914	23,914	0	23,914
15	産業廃棄物収集運搬 処分委託	サンワ環境整 備㈱	38,500	38,500	0	38,500
5	訪問看護業務委託	㈱メイヤロフ	343,200	343,200	0	343,200
16	産業廃棄物(厨房廃 油)収集・運搬委託	㈱袋井清掃	28,050	28,050	0	28,050
17	産業廃棄物(厨房廃 油)収集・運搬及び処 分委託	㈱太洋サービ ス	13,750	13,750	0	13,750
18	産業廃棄物収集運搬 処分委託	サンワ環境整 備㈱	38,500	38,500	0	38,500
19	産業廃棄物収集運搬 処分委託	サンワ環境整 備㈱	93,500	93,500	0	93,500
20	産業廃棄物(厨房廃 油)収集・運搬委託	㈱袋井清掃	28,050	28,050	0	28,050
21	産業廃棄物(厨房廃 油)収集・運搬及び処 分委託	㈱太洋サービ ス	13,750	13,750	0	13,750
	合 計					

関 する 調

(令和6年度)

契約締結方法	契約期間	支出年月日	金額	委託業務の内容	摘要
随契	6.5.23 ～ 6.10.31	6.9.20	38,500	厨房から排出される不燃物の収集運搬処分業務 コンテナ (3 m <sup>3</sup> ) 1台	随契1号 (少額)
随契	6.7.1 ～ 6.11.29	6.9.6	28,050	厨房グリストラップの汚泥の清掃、運搬 A : 500kg	随契1号 (少額)
随契	6.7.1 ～ 6.11.29	6.9.27	13,750	厨房グリストラップの汚泥の処分 A : 500kg	随契1号 (少額)
随契	6.8.5 ～ 6.12.20	6.12.6	38,500	厨房から排出される不燃物の収集運搬処分業務 コンテナ (3 m <sup>3</sup> ) 1台	随契1号 (少額)
随契	6.8.7 ～ 6.12.20	6.11.19	23,914	廃電池の収集運搬処分業務 廃電池 11kg	随契1号 (少額)
随契	6.10.25 ～ 7.2.28	7.2.20	38,500	厨房から排出される不燃物の収集運搬処分業務 コンテナ (3 m <sup>3</sup> ) 1台	随契1号 (少額)
随契	6.11.28 ～ 7.3.31	7.1.31	22,000	医療的ケア児就学支援のための訪問看護	随契1号 (少額)
		7.2.28	50,050		
		7.3.31	56,650		
		7.4.15	28,050		
		小計	156,750		
随契	6.12.5 ～ 7.2.28	7.1.24	28,050	厨房グリストラップの汚泥の清掃、運搬 A : 500kg	随契1号 (少額)
随契	6.12.5 ～ 7.2.28	7.1.31	13,750	厨房グリストラップの汚泥の処分 A : 500kg	随契1号 (少額)
随契	6.12.25 ～ 7.3.28	7.4.24	38,500	厨房から排出される不燃物の収集運搬処分業務 コンテナ (3 m <sup>3</sup> ) 1台	随契1号 (少額)
随契	7.2.3 ～ 7.3.26	7.4.16	93,500	校内から排出される不燃物の収集運搬処分業務 コンテナ (8 m <sup>3</sup> ) 1台	随契1号 (少額)
随契	7.2.5 ～ 7.3.28	7.4.18	28,050	厨房グリストラップの汚泥の清掃、運搬 A : 500kg	随契1号 (少額)
随契	7.2.5 ～ 7.3.28	7.4.15	13,750	厨房グリストラップの汚泥の処分 A : 500kg	随契1号 (少額)
			69,358,352		

委 託 料 に

整理 番号	委託業務名	受託者	当初設計金額	契約金額		
				当初額	変更 増減額	計
参考 1	静岡県立掛川西高等 学校外7校警備業務委託	総合警備保障㈱ 静岡支社		円 8,965,440	円 0	円 8,965,440
参考 2	静岡県立掛川西高等 学校外7校警備業務委託	総合警備保障㈱ 静岡支社		10,021,440	0	10,021,440
参考 3	静岡県立掛川工業高 等学校外6校自家用電 気工作物保安管理業 務委託	遠鉄アシスト㈱		2,621,520	348,763	2,970,283
参考 4	静岡県立小笠高等学 校外4校浄化槽保守点 検業務委託	中遠環境保全㈱		1,762,365	0	1,762,365
参考 5	静岡県立掛川西高等 学校外4校可燃物収集 運搬処分業務委託	中遠環境保全㈱		運搬料1回 2,035 処分料1kg 16.5	0	運搬料1回 2,035 処分料1kg 16.5
参考 6	静岡県立掛川東高等 学校外7校消防用設備 等保守点検業務委託	静岡県消防設備 保守点検業協同 組合		6,985,000	0	6,985,000
参考 7	静岡県立池新田高等 学校外6校水泳プール 浄化装置保守点検業 務委託	清化工業㈱		330,000	0	330,000
参考 8	掛川菊川地区県立学 校建築基準法第12条 の基づく定期点検業務 委託	福田一級建築士 事務所		2,420,000	0	2,420,000
	計	8件				

関 する 調

(令和6年度)

契約締結方法	契約期間	支出年月日	金額	委託業務の内容	摘要
	1.10.1 ～ 6.9.30			掛川西高校ほか7校 警報機器による警備業務	掛川西高校
	6.10.1 ～ 11.9.30			掛川西高校ほか7校 警報機器による警備業務	掛川西高校
	6.4.1 ～ 7.3.31			掛川工業高校ほか6校 電気工作物に対する保安上の点検業務	掛川工業高校
	6.4.1 ～ 7.3.31			小笠高校ほか4校 浄化槽の保守点検業務	小笠高校
	6.4.10 ～ 7.3.31			掛川西高校ほか4校 可燃物の収集運搬処分業務	掛川西高校
	6.4.1 ～ 7.3.31			掛川東高校ほか7校 消防設備の保守及び機器点検・総合点検業務	掛川東高校
	6.4.5 ～ 6.12.27			池新田高校ほか6校 水泳プール浄化装置保守点検業務	池新田高校
	6.9.20 ～ 6.12.27			掛川東高校ほか6校 建築基準法に基づく定期点検業務	掛川東高校

## 委 託 料 に

整理 番号	委託業務名	受託者	当初設計金額	契約金額		
				当初額	変更 増減額	計
1	給食業務委託	(株)ミカサ	51,184,672	51,150,000	0	51,150,000
2	スクールバス運行管理業務委託	大新東(株)静岡営業所	17,028,000	16,236,000	0	16,236,000
3	通学バス輸送業務委託	静鉄ジョイス テップバス(株)旅行営業課	138,897,605	135,627,030	0	135,627,030
4	エレベーター保守点検業務委託	三菱電機ビルソリューションズ (株)中部支社静岡支店	587,400	587,400	0	587,400
5	防鼠防虫業務委託	(株)帝装化成掛川営業所	94,380	94,380	0	94,380
6	一般廃棄物収集運搬処分業務委託	中遠環境保全(株)	運搬料 1回 2,035 可燃物処分料 1kg 16.5	運搬料 1回 2,035 可燃物処分料 1kg 16.5	0	運搬料 1回 2,035 可燃物処分料 1kg 16.5
7	訪問看護業務委託	(株)メイヤロフ	171,600	171,600	0	171,600
8	産業廃棄物収集運搬処分委託	サンワ環境整備(株)	38,500	38,500	0	38,500
9	産業廃棄物(厨房廃油)収集・運搬委託	(株)袋井清掃	28,050	28,050	0	28,050

関 する 調

(令和7年度)  
(令和7年9月30日現在)

契約締結方法	契約期間	支出年月日	金額	委託業務の内容	摘要
不随	5.8.1 ～ 8.7.31	支出済累計額	(17,049,120)	給食調理(配膳)業務 5年度 120回 6年度 189回 7年度 190回 8年度 68回	2長期
		7.5.30	1,420,760		
		7.6.30	1,420,760		
		7.7.31	1,420,760		
		7.8.29	1,420,760		
		7.9.30	1,420,760		
小計	7,103,800				
一般	6.4.1 ～ 9.3.31	支出済累計額	(5,412,000)	スクールバス運行管理 大型バス 1台 運行日数 6年度 202日 7年度 202日 8年度 202日 管理日数 21日	3長期
		7.5.30	451,000		
		7.6.30	451,000		
		7.7.31	451,000		
		7.8.29	451,000		
		7.9.30	451,000		
小計	2,255,000				
一般	6.4.1 ～ 9.3.31	支出済累計額	(45,209,004)	スクールバス運行 大型バス 3台 運行日数 6年度 202日 7年度 202日 8年度 202日	3長期
		7.5.30	3,767,417		
		7.6.30	3,767,417		
		7.7.31	3,767,417		
		7.8.29	3,767,417		
		7.9.30	3,767,417		
小計	18,837,085				
随契	7.4.1 ～ 8.3.31	6.5.31	28,710	昇降機保守点検 寝台用1台 定員11人・積載750kg 遠隔点検診断 随時 法定点検 年1回	随契1号 (少額)
		6.6.28	28,710		
		6.7.31	84,810		
		6.8.30	28,710		
		6.9.30	28,710		
		小計	199,650		
随契	7.4.3 ～ 8.3.31			ネズミ及びゴキブリ等防除業務 巡回点検 月1回 薬剤散布等 年2回	随契1号 (少額)
随契	7.4.11 ～ 8.3.31	7.5.30	23,809	厨房から搬出される一般廃棄物の収集運搬処分業務 年間 142回	単価契約 随契1号 (少額)
		7.6.30	43,813		
		7.7.31	42,179		
		7.8.29	35,398		
		小計	145,199		
随契	7.4.21 ～ 8.3.31	7.5.30	11,000	医療的ケア児就学支援のための訪問看護	随契1号 (少額)
		7.7.11	27,500		
		7.7.31	22,550		
		7.8.29	22,000		
		小計	83,050		
随契	7.4.7 ～ 7.7.31	7.7.11	38,500	厨房から排出される不燃物の収集運搬処分業務 コンテナ(3㎡)1台	随契1号 (少額)
随契	7.7.1 ～ 7.10.31	7.8.22	28,050	厨房グリストラップの汚泥の清掃、運搬 A: 500kg	随契1号 (少額)

□□□□□ □

委 託 料 に

整理 番号	委託業務名	受託者	当初設計金額	契約金額		
				当初額	変更 増減額	計
10	産業廃棄物(厨房廃油)収集・運搬及び処分委託	(株)太洋サービス	13,750	13,750	0	13,750
11	産業廃棄物収集運搬処分委託	サンワ環境整備(株)	38,500	38,500	0	38,500
	合 計					

関 する 調

(令和7年度)  
(令和7年9月30日現在)

契約締結方法	契約期間	支出年月日	金額	委託業務の内容	摘要
随契	7.7.1 ～ 7.10.31	7.8.27	13,750	厨房グリストラップの汚泥の処分 A : 500kg	随契1号 (少額)
随契	7.6.16 ～ 7.10.31			厨房から排出される不燃物の収集運搬 処分業務 コンテナ (3 m <sup>3</sup> ) 1台	随契1号 (少額)
			28,704,084		

委 託 料 に

整理 番号	委託業務名	受託者	当初設計金額	契約金額		
				当初額	変更 増減額	計
参考 1	静岡県立掛川西高等 学校外7校警備業務委 託	総合警備保障(株) 静岡支社		円 10,021,440	円 0	円 10,021,440
参考 2	静岡県立掛川工業高 等学校外6校自家用電 気工作物保安管理業 務委託	遠鉄アシスト(株)		2,985,840		2,985,840
参考 3	静岡県立小笠高等学 校外4校浄化槽保守点 検業務委託	中遠環境保全(株)		1,757,745	0	1,757,745
参考 4	静岡県立掛川工業高 等学校外5校可燃物収 集運搬処分業務委託	(株)中部カレット		運搬料1回 2,200 処分料1kg 16.5	0	運搬料1回 2,000 処分料1kg 16.5
参考 5	静岡県立掛川東高等 学校外7校消防用設備 等保守点検業務委託	静岡県消防設備 保守点検業協同 組合		7,194,000	14,715	7,208,715
参考 6	静岡県立横須賀高等 学校ほか5校水泳プー ル浄化装置保守点検 業務委託	清化工業(株)		291,500	0	291,500
参考 7	掛川菊川地区県立学 校建築基準法第12条 に基づく定期点検業務 委託	福田一級建築士 事務所		2,530,000	0	2,530,000
	計	8件				

関 する 調

(令和7年度)  
(令和7年9月30日現在)

契約締結方法	契約期間	支出年月日	金額	委託業務の内容	摘要
	6.10.1 ～ 11.9.30			掛川西高校ほか7校 警報機器による警備業務	掛川西高校
	7.4.1 ～ 8.3.31			掛川工業高校ほか6校 電気工作物に対する保安上の点検業務	掛川工業高校
	7.4.1 ～ 8.3.31			小笠高校ほか4校 浄化槽の保守点検業務	小笠高校
	7.4.9 ～ 8.3.31			掛川工業高校ほか5校 可燃物の収集運搬処分業務	掛川工業高校
	7.4.1 ～ 8.3.31			掛川東高校ほか7校 消防設備の保守及び機器点検・総合点検業務	掛川東高校
	7.4.7 ～ 7.12.26			横須賀高校ほか5校 水泳プール浄化装置保守点検業務	横須賀高校
	7.9.1 ～ 7.12.26			掛川西高校ほか6校 建築基準法に基づく定期点検業務	掛川西高校

### 負担金支出調

(令和6年度)

整理 番号	負担金名	交付先	負担根拠	事業内容	負担 金額	支出 年月日
1	掛川地区安全運 転管理協会会費	掛川地区安全運 転管理協会会長	会則第16 条による	安全運転管理者の資 質の向上及び交通安全 の実現に寄与する	円 18,000	6.4.24
2	甲種防火管理新 規講習受講料	(一財)日本防火・ 防災協会会長	開催通知 による	事業所ごと有資格者 の設置が義務付けられ ている(1名分)	8,000	6.5.23
3	特別管理産業廃 棄物講習会受講 料	日本産業廃棄物処 理振興センター	開催通知 による	事業所ごと有資格者 の設置が義務付けられ ている(1名分)	13,200	6.6.4
4	東海地区特別支 援学校知的障害 教育校長会会費	東海地区特別支援 学校知的障害教育 校長会会長	規約第9 条及び附 則5による	特別支援学校知的障 害教育の振興並びに会 員の研修	5,000	6.7.26
5	東海地区特別支 援学校知的障害 教育研究大会参 加費	東海地区特別支援 学校知的障害教育 校長会会長	開催通知 による	特別支援学校が共通 して抱える問題につい て協議し解決の道を探 求し、教育の発展に資 する(1名分)	3,000	6.8.21
6	安全運転管理者 講習会参加費	静岡県安全運転管 理協会会長	開催通知 による	安全運転管理者の資 質の向上及び交通安全 の実現に寄与する	4,500	6.9.10
7	全国特別支援学 校知的障害教育 校長会会費	全国特別支援学校 知的障害教育校長 会会長	会則第15 条による	特別支援教育ならび に知的障害教育の振興 を図る	15,000	6.11.26
計		7件			66,700	

### 負担金支出調

(令和7年度)  
(令和7年9月30日)

整理番号	負担金名	交付先	負担根拠	事業内容	負担金額	支出年月日
1	掛川地区安全運転管理協会会費	掛川地区安全運転管理協会会長	会則第16条による	安全運転管理者の資質の向上及び交通安全の実現に寄与する	円 18,000	7.4.21
2	全国特別支援学校知的障害教育校長研究大会会費	全国特別支援学校知的障害教育校長研究大会関東甲信越(埼玉)大会実行委員長	開催要項による	知的障害教育における支援の在り方や効果的な学校経営という主題のもとで知的障害教育の充実を図る(1名分)	3,000	7.7.7
3	東海地区学校図書館研究大会参加費	東海地区学校図書館研究大会運営委員会会長	開催通知による	これからの学校図書館の在り方を考える(1名分)	3,000	7.7.24
4	安全運転管理者講習会参加費	静岡県安全運転管理協会会長	開催通知による	安全運転管理者の資質の向上及び交通安全の実現に寄与する	4,500	7.7.30
5	東海地区特別支援学校知的障害教育校長会会費	東海地区特別支援学校知的障害教育校長会会長	規約第9条及び附則5による	特別支援学校知的障害教育の振興並びに会員の研修	5,000	7.7.30
6	全国特別支援学校知的障害教育校長会会費	全国特別支援学校知的障害教育校長会会長	会則第15条による	特別支援教育ならびに知的障害教育の振興を図る	15,000	7.8.14
7	東海地区特別支援学校知的障害教育研究大会参加費	東海地区特別支援学校知的障害教育校長会会長	開催通知による	特別支援学校が共通して抱える問題について協議し解決の道を探求し、教育の発展に資する(4名分)	4,000	7.8.22
計		5件			52,500	

□□□□□ □

## 建 築 工

整理 番号	予算科目	工 事 名	工事箇所	当初設計金額	契 約 金 額		
					当 初 額	変更増減額	計
				円	円	円	円
1	教育管理費	掛川特別支援学校 太陽光発電設備 売電用パワー コンディショナー 修繕工事	掛川市杉谷 南	671,000	671,000		671,000
	合 計		1 件	671,000	671,000	0	671,000

整理 番号	予算科目	工 事 名	工事箇所	当初設計金額	契 約 金 額		
					当 初 額	変更増減額	計
				円	円	円	円
1	教育管理費	掛川特別支援学校 御前崎分校 保健室空調機 更新工事	御前崎市池 新田	1,100,000	1,100,000		1,100,000
	合 計		1 件	1,100,000	1,100,000	0	1,100,000

# 事 調

(令和6年度)

契約締結方法	受注者	着手完成(予定)年月日	支出済額	工 事 概 要	公有財産台帳	摘 要
随契		R6.9.2 ～ R6.11.29	円 671,000	プリント基板交換1式	-	令達年月日 R6.7.31 支払年月日 R6.12.9 随契1号 (少額)
			671,000			

(令和7年度)

(令和7年9月30日現在)

契約締結方法	受注者	着手完成(予定)年月日	支出済額	工 事 概 要	公有財産台帳	摘 要
随契		R7.5.26 ～ R7.8.29	円 1,100,000	空調機更新1式	済	令達年月日 R7.5.12 支払年月日 R7.9.30 随契1号 (少額)
			1,100,000			

公 有 財 産 調

(令和6年度)

(本校)

区 分	令和6年3月31日 現 在		増		減		令和7年3月31日 現 在		摘要
	数量又 は面積	台帳 価 格	数量又 は面積	台帳 価 格	数量又 は面積	台帳 価 格	数量又 は面積	台帳 価 格	
行政財産		千円 2,351,805		千円 0		千円 90,116		千円 2,261,689	
土 地	m <sup>2</sup> 22,999.98	708,399	m <sup>2</sup>		m <sup>2</sup>		m <sup>2</sup> 22,999.98	708,399	
立木竹	本		本		本		本	0	
建 物	m <sup>2</sup> <u>4,864.59</u> 8,046.32	1,362,229	m <sup>2</sup>		m <sup>2</sup>	57,708	m <sup>2</sup> <u>4,864.59</u> 8,046.32	1,304,521	
工作物	個 96	281,074	個		個	32,408	個 96	248,666	
樹木	本 200	103	本		本		本 200	103	
公有財産に 準ずるもの		30		0		0		30	
電 話 加入権	件 1	30	件		件		件 1	30	

(令和7年度中増減なし)

(令和6年度)

(御前崎分校)

区分	令和6年3月31日現在		増		減		令和7年3月31日現在		摘要
	数量又は面積	台帳価格	数量又は面積	台帳価格	数量又は面積	台帳価格	数量又は面積	台帳価格	
行政財産		千円 13,146		千円 0		千円 1,139		千円 12,007	
工作物	個 9	13,146	個		個	1,139	個 9	12,007	
公有財産に準ずるもの		千円 150		千円 0		千円		千円 150	
電話加入権	件 2	150					件 2	150	

(令和7年度)

(令和7年9月30日現在)

区分	令和7年3月31日現在		増		減		令和7年9月30日現在		摘要
	数量又は面積	台帳価格	数量又は面積	台帳価格	数量又は面積	台帳価格	数量又は面積	台帳価格	
行政財産		千円 12,007		千円 11,439		千円 0		千円 23,446	
工作物	個 9	12,007	個 6	11,439	個		個 15	23,446	
公有財産に準ずるもの		千円 150		千円 0		千円		千円 150	
電話加入権	件 2	150					件 2	150	

## 借 地 借 家 等 調

(令和7年9月30日現在)

整理 番号	区分	種別	所在地	地 目		数量又は 面 積	借 料		契約期間	所 有 者 又 は 契約者氏名	用 途
				台帳	現況		単価	年額			
1	土地	敷地	掛川市 杉谷南一丁目1-25	市道	病院北通り 線	m <sup>2</sup> 17.20	-	-	R6. 4. 1 ～ R9. 3.31	掛川市長	花壇設置
	土地計					m <sup>2</sup> 17.20	-	-			
1	建物	事務所建	御前崎市 池新田2907-1	鉄筋コンク リート造	4階建	m <sup>2</sup> <u>816.22</u> 816.22	-	-	R6. 4. 1 ～ R9. 3.31	池新田高等 学校長	校舎
2	建物	事務所建	御前崎市 池新田2907-1	鉄筋コンク リート造	4階建	m <sup>2</sup> <u>22.47</u> 22.47	-	-	R6. 4. 1 ～ R9. 3.31	池新田高等 学校長	昇降口
3	建物	雑屋建	御前崎市 池新田2907-1	鉄骨造	平屋建	m <sup>2</sup> <u>333.00</u> 333.00	-	-	R6. 4. 1 ～ R9. 3.31	池新田高等 学校長	作業場
	建物計					m <sup>2</sup> <u>1171.69</u> 1171.69	-	-			

□□□□□□ □

事務機器等の債務負担行為又は長期継続契約に係る調

(令和7年度)  
(令和7年9月30日現在)

区分	事業名又は 契約名	内 容	契約額	(契約額の年度別内訳)						
				5年度	6年度	7年度	8年度	9年度	10年度	
長期継続 契 約	カラー印刷機 賃借	カラー印刷機 1台の賃貸借 (契約日) R6.4.1	3,933,600	円	786,720	786,720	786,720	786,720	円	786,720
	給食業務委託	給食の調理配膳 業務委託 (契約日) R5.7.26	51,150,000	11,366,080	17,049,120	17,049,120	5,685,680			
	スクールバス 運行管理業務 委託	スクールバス 1台の運行管理 業務委託 (契約日) R6.4.1	16,236,000		5,412,000	5,412,000	5,412,000			
	通学バス輸送 業務委託	通学バス3台の 輸送業務委託 (契約日) R6.4.1	135,627,030		45,209,004	45,209,004	45,209,022			

行政財産貸付・使用許可調

(令和7年9月30日現在)

整理 番号	区分	種別	所在地	地目		数量 又は 面積	貸付料又は 使用料		貸付又は 使用許可 期間	貸付又は使用 許可を受けた 者の氏名	貸付・ 使用許 可目的
				台帳	現況		単価	年額			
1	土地	学校敷地	掛川市杉谷南1丁目1番2号	学校敷地	学校敷地	本柱6本 支線3条 支柱2本	円 1,500	円 16,500	R3. 4. 1 ～ R8. 3. 31	中部電力 パワー グリッド(株) 掛川営業所	電力 供給
2	土地	学校敷地	掛川市杉谷南1丁目1番2号	学校敷地	学校敷地	支線3条 支柱1本	1,500	6,000	R3. 4. 1 ～ R8. 3. 31	NTT西日本(株) 静岡支店	電気 通信
3	土地	学校敷地	掛川市杉谷南1丁目1番2号	学校敷地	学校敷地	m <sup>2</sup> 184.96	—	免除	R7. 4. 1 ～ R8. 3. 31	掛川市長	植栽地
4	土地	学校敷地	掛川市杉谷南1丁目1番2号	学校敷地	学校敷地	m <sup>2</sup> 16.16	—	免除	R6. 4. 1 ～ R11. 3. 31	掛川市長	防災 資機材 保管庫
5	建物	事務所建	掛川市杉谷南1丁目1番2号	事務所建	事務所建	m <sup>2</sup> 0.62	—	免除	R3. 4. 1 ～ R8. 3. 31	掛川市長	防災 無線 設置
6	建物	事務所建	掛川市杉谷南1丁目1番2号	事務所建	事務所建	m <sup>2</sup> 0.48	—	免除	R7. 4. 1 ～ R8. 3. 31	掛川市長	停電時 電源切替 システム 設置
合 計								22,500			

## 主要備品調

(令和7年9月30日現在)

整理 番号	区 分		品名・規格	利用状況	購入 年月	購入金額
	大・中	小				
1	01-13	調理器具	ガス式ステンレス回転釜 蓋屈折開閉式、排水ドロー 式	給食調理用 年間190日	R6.3	2,739,000
2	01-13	その他の厨房器具	真空冷却機 755*800*1740	給食調理用 年間190日	H27.2	2,085,480
3	01-13	食品食器洗浄機	ラックコンベヤタイプ 自動食器洗 1180*750*1340	給食調理用 年間190日	H27.2	1,959,120
4	01-13	調理器具	コンビオープン 920*773*1700	給食調理用 年間190日	H27.2	1,794,960
5	06-09	その他の木工用機器	横切り盤 PW-1300A-H	作業学習授業用 週10h使用	H27.3	1,420,200
6	03-03	プロジェクター	プロジェクター MC-BW302J	教室授業用 週10h使用	R3.3	1,402,711
7	01-13	冷蔵(凍)庫	パススルー冷蔵庫 1200*850*1950	給食調理用 年間190日	H27.2	1,399,680
8	10-08	その他の芸術用器具	電気横扉式陶芸窯 (還元バーナー) KRK-20B	作業学習授業用 週10h使用	H27.3	1,360,800
9	01-14	エアコンディショ ナー	空冷ヒートポンプエアコン PLZX-ERP224EM	会議室用 週20h使用	H29.8	1,350,000
10	01-13	その他の厨房器具	電気式食器消毒保管機 1750*950*1860	給食調理用 年間190日	H27.2	1,077,840
11	01-13	冷蔵(凍)庫	冷凍冷蔵庫 1500*650*1950	給食調理用 年間190日	H27.2	839,160
12	10-99	その他の教育用器具	スイングサポートフレーム 大型	粗大運動授業用 年間80日	R2.9	800,000
13	02-02	放送装置	放送装置 デジタルミキサー	体育授業用 週20h使用	H28.2	768,960
14	01-14	エアコンディショ ナー	エアコン SSRA50BCT	印刷室用 週20h使用	R1.6	739,800
15	01-14	エアコンディショ ナー	エアコン PCZ-ERMP112KM	図書室用 週10h使用	H29.6	702,000
16	06-09	木工用機械	木工用機械 2034型	作業学習授業用 週10h使用	R3.11	679,800
17	01-13	調理器具	ガス式立体炊飯器 (低輻射仕様) 830*720*1680	給食調理用 年間190日	H27.2	590,760
18	01-13	調理器具	ガス式立体炊飯器 (低輻射仕様) 830*720*1680	給食調理用 年間190日	H27.2	590,760
19	06-01	破碎機器	破碎機器 FH-70	作業学習授業用 週10h使用	R3.9	564,300
20	01-14	エアコンディショ ナー	空調機 壁掛型	看護師室用 週30h使用	R6.2	547,690

# 事務事業及び予算の執行実績（別冊）

静岡県立掛川特別支援学校

整理番号	職名	氏名	事務分担	住所	勤務年数	摘要
1	校長	山崎 かおる	総括	□□□	□□	□□□□
2	副校長	柴田 潤二	総括補助	□□□	□□	□□□□
3	教頭	佐藤 貴志	総括補助	□□□	□□	□□□□
4	事務長	中村 実	事務総括	□□□	□□	□□□□
5	教諭	荒木 敬一郎	高級外	□□□	□□	□□□□
6	教諭	山田 由美子	高3	□□□	□□	□□□□
7	教諭	平岡 常一	中3	□□□	□□	□□□□
8	教諭	西村 強	小2	□□□	□□	□□□□
9	教諭	塚本 陽子	小1	□□□	□□	□□□□
10	教諭	多田 三千代	小3	□□□	□□	□□□□
11	教諭	田村 進	小3	□□□	□□	□□□□
12	教諭	矢山 賢一	高1	□□□	□□	□□□□
13	教諭	花村 理恵子	小4	□□□	□□	□□□□
14	教諭	竹中 智子	高3	□□□	□□	□□□□
15	教諭	池田 みどり	小級外	□□□	□□	□□□□
16	教諭	福代 美也乃	小4	□□□	□□	□□□□
17	教諭	神原 秀晃	小級外	□□□	□□	□□□□
18	教諭	小山 裕子	小3	□□□	□□	□□□□
19	教諭	大石 京子	中級外	□□□	□□	□□□□
20	教諭	河村 智可	小級外	□□□	□□	□□□□
21	教諭	植田 淳子	小3	□□□	□□	□□□□
22	教諭	梅原 隆史	小級外	□□□	□□	□□□□
23	教諭	倉知 由利	中級外	□□□	□□	□□□□
24	教諭	土屋 利男	高1	□□□	□□	□□□□
25	教諭	久米 俊二	中1	□□□	□□	□□□□
26	教諭	鈴木 陽子	小級外	□□□	□□	□□□□
27	教諭	高木 美保子	中3	□□□	□□	□□□□
28	教諭	中嶋 宏昌	中1	□□□	□□	□□□□
29	教諭	大石 香織	小1	□□□	□□	□□□□
30	教諭	山本 和枝	高級外	□□□	□□	□□□□
31	教諭	大石 安規子	高2	□□□	□□	□□□□
32	教諭	中野 比呂子	小5	□□□	□□	□□□□
33	教諭	鈴木 憩子	高級外	□□□	□□	□□□□
34	教諭	藪崎 由紀子	小5	□□□	□□	□□□□
35	教諭	小杉 栄乃	中2	□□□	□□	□□□□

整理番号	職名	氏名	事務分担	住所	勤務年数	摘要
36	教 諭	佐野 佑介	中3	□□□	□□	□□□□
37	教 諭	鈴木 勝晃	高1	□□□	□□	□□□□
38	教 諭	村松 まり子	小1	□□□	□□	□□□□
39	教 諭	大石 真理子	中級外	□□□	□□	□□□□
40	教 諭	浦井 明美	小2	□□□	□□	□□□□
41	教 諭	伊東 郁乃	小2	□□□	□□	□□□□
42	教 諭	小澤 千穂	小級外	□□□	□□	□□□□
43	教 諭	松浦 正人	高1	□□□	□□	□□□□
44	教 諭	山本 和幸	高2	□□□	□□	□□□□
45	教 諭	松井 健	高級外	□□□	□□	□□□□
46	教 諭	鈴木 ちはる	中3	□□□	□□	□□□□
47	教 諭	濱本 沙織	小4	□□□	□□	□□□□
48	教 諭	小川 悟	小6	□□□	□□	□□□□
49	教 諭	佐藤 綾子	中級外	□□□	□□	□□□□
50	教 諭	名倉 彩	高級外	□□□	□□	□□□□
51	教 諭	渡辺 恵子	小5	□□□	□□	□□□□
52	教 諭	山田 茉莉江	小3	□□□	□□	□□□□
53	教 諭	鈴木 隆之	高級外	□□□	□□	□□□□
54	教 諭	竹内 由香	高級外	□□□	□□	□□□□
55	教 諭	立花 知仁	高1	□□□	□□	□□□□
56	教 諭	酒井 敬子	高級外	□□□	□□	□□□□
57	教 諭	尾崎 幸子	小2	□□□	□□	□□□□
58	教 諭	竹村 真衣子	中2	□□□	□□	□□□□
59	教 諭	樋口 衡子	小6	□□□	□□	□□□□
60	教 諭	杉浦 正樹	高2	□□□	□□	□□□□
61	教 諭	横山 悦子	小級外	□□□	□□	□□□□
62	教 諭	山田 崇滋	高2	□□□	□□	□□□□
63	教 諭	栗原 由里加	中2	□□□	□□	□□□□
64	教 諭	鈴木 愛巳	高級外	□□□	□□	□□□□
65	教 諭	内藤 嘉恵	小級外	□□□	□□	□□□□
66	教 諭	須原 拓実	中3	□□□	□□	□□□□
67	教 諭	相津 詠美	高3	□□□	□□	□□□□
68	教 諭	山本 紗也加	高級外	□□□	□□	□□□□
69	教 諭	堂地 鉄平	高3	□□□	□□	□□□□
70	教 諭	池谷 暢繁	小4	□□□	□□	□□□□
71	教 諭	村松 盛	中1	□□□	□□	□□□□

整理番号	職名	氏名	事務分担	住所	勤務年数	摘要
72	教諭	秋山 武史	小4	□□□	□□	□□□□
73	教諭	岸田 健太郎	中2	□□□	□□	□□□□
74	教諭	伊藤 佑輔	小2	□□□	□□	□□□□
75	教諭	重富 絵梨香	小3	□□□	□□	□□□□
76	教諭	中谷 采由	小5	□□□	□□	□□□□
77	教諭	小林 まち	小2	□□□	□□	□□□□
78	教諭	横山 初穂	小4	□□□	□□	□□□□
79	教諭	大塚 敦子	高2	□□□	□□	□□□□
80	教諭	佐野 佳美	小5	□□□	□□	□□□□
81	教諭	飯田 実来	高級外	□□□	□□	□□□□
82	教諭	長谷川 亜夜子	中1	□□□	□□	□□□□
83	教諭	石塚 真野	中2	□□□	□□	□□□□
84	教諭	増田 妃呂子	高2	□□□	□□	□□□□
85	教諭	増田 香織	中1	□□□	□□	□□□□
86	教諭	寺田 宗樹	小6	□□□	□□	□□□□
87	教諭	青山 咲希	高1	□□□	□□	□□□□
88	教諭	中辻 由加里	小4	□□□	□□	□□□□
89	教諭	枝村 舞子	小5	□□□	□□	□□□□
90	教諭	胡摩 尚志	高2	□□□	□□	□□□□
91	教諭	神野 一樹	中3	□□□	□□	□□□□
92	教諭	青木 茜	中1	□□□	□□	□□□□
93	教諭	村上 瑞萌	小2	□□□	□□	□□□□
94	教諭	藤田 凌平	小5	□□□	□□	□□□□
95	教諭	守田 恵里	中2	□□□	□□	□□□□
96	教諭	櫻井 詩織	高級外	□□□	□□	□□□□
97	教諭	鈴木 万菜実	小1	□□□	□□	□□□□
98	教諭	増田 美希	小3	□□□	□□	□□□□
99	教諭	鈴木 萌香	中1	□□□	□□	□□□□
100	教諭	石垣 彩香	高2	□□□	□□	□□□□
101	教諭	澤田 穂高	小級外	□□□	□□	□□□□
102	教諭	川口 紗采	小1	□□□	□□	□□□□
103	教諭	菅島 在一	高3	□□□	□□	□□□□
104	教諭	高宮 裕貴	中3	□□□	□□	□□□□
105	教諭	袴田 彩花	小1	□□□	□□	□□□□
106	教諭	増田 涼華	中2	□□□	□□	□□□□
107	教諭	木野 莉佐子	小1	□□□	□□	□□□□

整理番号	職名	氏名	事務分担	住所	勤務年数	摘要
108	教諭	古田 遥菜	小2	□□□	□□	□□□□
109	教諭	福井 康太	高2	□□□	□□	□□□□
110	教諭	大庭 雅史	中2	□□□	□□	□□□□
111	教諭	遠藤 圭太	中2	□□□	□□	□□□□
112	教諭	南 亜子	中3	□□□	□□	□□□□
113	教諭	伊藤 実希	小6	□□□	□□	□□□□
114	教諭	斎藤 麻由	小4	□□□	□□	□□□□
115	教諭	加藤 里菜	小4	□□□	□□	□□□□
116	教諭	大塚 万菜	小3	□□□	□□	□□□□
117	教諭	八木 裕二	中1	□□□	□□	□□□□
118	教諭	山下 ちひろ	小1	□□□	□□	□□□□
119	教諭	山田 有衣子	小4	□□□	□□	□□□□
120	教諭	河原崎 創太	小5	□□□	□□	□□□□
121	養護教諭	平田 奈保	養護	□□□	□□	□□□□
122	養護教諭	道上 千江	養護	□□□	□□	□□□□
123	栄養教諭	大塚 美和子	給食	□□□	□□	□□□□
124	主査	岡本 優子	管財・会計	□□□	□□	□□□□
125	主査	國京 美幸	庶務・会計	□□□	□□	□□□□
126	主事	小林 奈央	庶務・会計	□□□	□□	□□□□
127	主任技能員	岡本 幸恭	用務	□□□	□□	□□□□
128	教諭(任)	牧野 智子	高1	□□□	□□	□□□□
129	教諭(任)	平田 知子	高1	□□□	□□	□□□□
130	教諭(任)	鈴木 祐太	高2	□□□	□□	□□□□
131	教諭(任)	河村 佳奈子	小6	□□□	□□	□□□□
132	教諭(任)	佐藤 和正	高1	□□□	□□	□□□□
133	教諭(任)	時長 哲朗	小5	□□□	□□	□□□□
134	教諭(任)	渡邊 弥誼	小1	□□□	□□	□□□□
平均年数					2年 5月	

## 付 記

整理番号	職名	氏名	事務分担	住所	勤務年数	摘要
1	教諭(臨)	松下一貫	小6	〇〇〇	〇〇	〇〇〇〇
2	教諭(臨)	阿部泰子	小1	〇〇〇	〇〇	〇〇〇〇
3	教諭(臨)	塩田真由美	小6	〇〇〇	〇〇	〇〇〇〇
4	教諭(臨)	孕石雅仁	中2	〇〇〇	〇〇	〇〇〇〇
5	教諭(臨)	織田理恵	小5	〇〇〇	〇〇	〇〇〇〇
6	教諭(臨)	大橋由	小4	〇〇〇	〇〇	〇〇〇〇
7	教諭(臨)	鈴木順子	小2	〇〇〇	〇〇	〇〇〇〇
8	教諭(臨)	杉本隆樹	中1	〇〇〇	〇〇	〇〇〇〇
9	教諭(臨)	二村慎一郎	高級外	〇〇〇	〇〇	〇〇〇〇
10	教諭(臨)	ポストロム瑠都	高1	〇〇〇	〇〇	〇〇〇〇
11	非常勤講師 (看護)	鈴木梢		〇〇〇	〇〇	〇〇〇〇
12	非常勤講師 (看護)	中西真由子		〇〇〇	〇〇	〇〇〇〇
13	非常勤講師 (看護)	落合智子		〇〇〇	〇〇	〇〇〇〇
14	非常勤講師 (看護)	大庭洋子		〇〇〇	〇〇	〇〇〇〇
15	非常勤講師 (看護)	矢田博美		〇〇〇	〇〇	〇〇〇〇
16	非常勤講師 (看護)	内田梢		〇〇〇	〇〇	〇〇〇〇
17	非常勤講師 (実技軽減)	赤堀あゆみ		〇〇〇	〇〇	〇〇〇〇
18	非常勤講師	永田政司	社会人活用 (革工芸)	〇〇〇	〇〇	〇〇〇〇
19	非常勤講師	中里匡志		〇〇〇	〇〇	〇〇〇〇
20	非常勤労務職員	藤井夏見	校内介助	〇〇〇	〇〇	〇〇〇〇
21	非常勤労務職員	岡本直子	校内介助	〇〇〇	〇〇	〇〇〇〇
22	非常勤労務職員	伊藤義典	スクールバス介助	〇〇〇	〇〇	〇〇〇〇
23	非常勤労務職員	鶴田久子	スクールバス介助	〇〇〇	〇〇	〇〇〇〇
24	非常勤労務職員	前原龍子	スクールバス介助	〇〇〇	〇〇	〇〇〇〇
25	非常勤労務職員	杉山けい子	スクールバス介助 校内介助	〇〇〇	〇〇	〇〇〇〇
26	非常勤労務職員	黒田文子	スクールバス介助 校内介助	〇〇〇	〇〇	〇〇〇〇
27	非常勤労務職員	石引美枝子	スクールバス介助	〇〇〇	〇〇	〇〇〇〇
28	非常勤労務職員	戸塚仁美	スクールバス介助	〇〇〇	〇〇	〇〇〇〇
29	非常勤労務職員	増田幸子	スクールバス介助	〇〇〇	〇〇	〇〇〇〇
30	非常勤労務職員	塚本友佳	校内介助	〇〇〇	〇〇	〇〇〇〇
31	スクール カウンセラー	高木紀子		〇〇〇	〇〇	〇〇〇〇
32	就労促進専門員	酒井美奈子		〇〇〇	〇〇	〇〇〇〇
33	非常勤嘱託員 (実習支援員)	松永正男		〇〇〇	〇〇	〇〇〇〇
34	非常勤嘱託員 (実習支援員)	松永新星		〇〇〇	〇〇	〇〇〇〇
36	校医(内科) 健康管理医	中島洋		〇〇〇	〇〇	〇〇〇〇
37	校医(耳鼻科)	小野智裕		〇〇〇	〇〇	〇〇〇〇
38	校医(眼科)	徳富真理子		〇〇〇	〇〇	〇〇〇〇
39	校医(歯科)	岡本正志		〇〇〇	〇〇	〇〇〇〇
40	校医(精神科)	高松康治		〇〇〇	〇〇	〇〇〇〇
41	学校薬剤師	名倉尚宏		〇〇〇	〇〇	〇〇〇〇

□□□□ □

## 職 員 調 (御前崎分校)

(令和7年9月30日 現在)

整理番号	職名	氏名	事務分担	住所	勤務年数	摘要
1	副 校 長	木 本 恭 嗣	総括補助	□□□	□ □	□□□□
2	教 諭	齊 藤 俊 美	高2	□□□	□ □	□□□□
3	教 諭	宮 津 香 織	高級外	□□□	□ □	□□□□
4	教 諭	福 井 研 二	高2	□□□	□ □	□□□□
5	教 諭	小 倉 寛 子	高級外	□□□	□ □	□□□□
6	教 諭	平 野 あゆみ	高等部主事	□□□	□ □	□□□□
7	教 諭	奈 木 昌 登	高2	□□□	□ □	□□□□
8	教 諭	山 崎 孟	高3	□□□	□ □	□□□□
9	教 諭	鯉 江 遼 香	高1	□□□	□ □	□□□□
10	教 諭	村 裕 舞 子	高3	□□□	□ □	□□□□
11	教 諭	増 田 将 太	高1	□□□	□ □	□□□□
12	教 諭	横 山 敬 吾	高1	□□□	□ □	□□□□
13	教 諭	大 貫 由 香 里	高2	□□□	□ □	□□□□
14	教 諭	富 岡 嵩	高3	□□□	□ □	□□□□
15	教 諭	西 田 行 弘	高3	□□□	□ □	□□□□
16	教 諭	増 井 百 花	高1	□□□	□ □	□□□□
17	教 諭	武 藤 圭 亮	高2	□□□	□ □	□□□□
18	養 護 教 諭	戸 田 陽 奈	養護	□□□	□ □	□□□□
平均年数					1年 6月	

## 付 記

整理番号	職名	氏名	事務分担	住所	勤務年数	摘要
1	主 事 ( 臨 )	提 坂 瑠 美	庶務・会計	□□□	□ □	□□□□
2	非 常 勤 講 師	永 田 政 司	社会人活用 (革工芸)	□□□	□ □	□□□□
3	非 常 勤 勞 務 職 員	落 合 千 壽 子	用務	□□□	□ □	□□□□
4	校 医 ( 内 科 )	川 口 智 史		□□□	□ □	□□□□
5	校 医 ( 耳 鼻 科 )	小 野 智 裕		□□□	□ □	□□□□
6	校 医 ( 眼 科 )	德 富 真 理 子		□□□	□ □	□□□□
7	校 医 ( 歯 科 )	大 内 志 朗		□□□	□ □	□□□□
8	学 校 薬 劑 師	櫻 田 静 勝		□□□	□ □	□□□□
9	健 康 管 理 医	阿 部 裕 和		□□□	□ □	□□□□

## 職員の年齢調

(令和7年9月30日現在)

年 齢	人 員			摘 要
	本 校	御 前 崎 分 校	合 計	
20歳未満	人	人	人	
20歳以上30歳未満	24	2	26	
30歳以上40歳未満	41	6	47	
40歳以上50歳未満	33	5	38	
50歳以上56歳未満	23	3	26	
56歳以上61歳未満	13	1	14	
61歳以上	0	1	1	内再任用1人
計	134	18	152	平均年齢 本校 41歳6か月 分校 42歳7か月

## 健康管理

### 1 令和5年度受診状況

区 分	内 容			
受 診 状 況		本校	分校	合計
	受診者数	126	19人	145
	職員数	128	19人	147
受 診 率	100%			
県平均受診率	100%			

(1) 未受診の理由  
産休・育休 2人

### 2 令和6年度在籍者の健康管理区分結果

健 康 管 理 区 分		人 数			
		本校	分校	合計	
A	休養のため必要な期間、勤務を休止させる。				
B 1	勤務時間を短縮し、時間外、休日、宿日直勤務及び長期又は遠方への出張をさける。また、必要に応じ勤務場所、勤務内容の変更を行う。	要治療			
B 2		要経過観察			
C 1	勤務をほぼ平常に行っており、症状によっては、時間外、休日、宿日直勤務及び長期又は遠方への出張等勤務に制限を加える必要がある。	要治療			
C 2		要経過観察			
D 1	平常の勤務でよい。	要治療	(25) 25人	(5) 5人	(20) 20人
D 2		要経過観察	(41) 41人	(6) 6人	(47) 47人
D 3		医療不要	(24) 60人	(1) 7人	(25) 67人
区 分 者 計			(90) 126人	(12) 18人	(102) 144人
未区分者数			8人	0人	8人
合 計			(90) 134人	(12) 18人	(102) 152人

(1) 管理区分A～C 2該当者に対する措置状況

(2) 未区分の理由  
ア 産休・育休  
4人

イ 新規採用  
2人

ウ 自己都合による未受診  
0人

エ その他  
2人